

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-5111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 15 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774210			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
霧島市の四季に富んだ自然風景や伝統行事自然を捉えた自由部門と、本年度からは新たにエアポート部門を加えた写真を公募し、優秀作品を展示することで、郷土への愛着を深めるとともに写真に対する関心を深めてもらう。			展示期間	2月20日~3月 6日	巡回展	3月 8日~5月23日
手順 ①開催要綱の決定 ②募集チラシの作成・広報 ③応募作品の審査 ④優秀作品の展示・表彰 (各地区の巡回展も開催する)			応募総数	320点	応募者数	134名
			平成24年度計画			
			展示期間	2月10日~3月 6日	巡回展	2月20日~3月30日
			応募総数	350点	応募者数	150名
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	出品点数	点	238	320	350	350
イ	出品者数	人	102	134	150	150
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	市民(鑑賞者)	人	127,512	127,836	129,098	129,328
イ	応募対象者	人	1,786,130	1,777,595	1,765,025	1,752,672
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	写真に対する関心を高めてもらう	人	1,960	5,650	4,450	4,450
イ	写真に対する関心を高めてもらう	人	102	134	150	150
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	人	26,454	32,611	23,170	
イ	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数					

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	424
	補正予算額	0
	予算合計	424
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	419
支出合計	419	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
旧国分市の市制50周年を記念し、地域の名所等を題材とした写真展を開始した。	デジタルカメラや携帯電話の普及に伴い、どこでも気軽に撮影できるようになった。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
合併に伴い、旧市町の写真展がそのまま引き続き開催されている。集約して開催の方法を検討する必要がある。(本年度2つの事務事業を統合した)	特になし。

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	312		312	316		316	316		316
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	96		96	197		197	197		197
消耗品費	28		28	28		28	28		28
燃料費									
食料費									
印刷製本費	68		68	169		169	169		169
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	11		11	11		11	11		11
通信運搬費	11		11	11		11	11		11
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	419		419	524		524	524		524

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	419		419	524		524	524		524
計	419		419	524		524	524		524

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	424千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算								
	第1回(6月)				第5回				
	第2回(9月)				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計	424千円								
参加費等の事業実施のための収入説明									

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由	
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	写真展の開催は、写真をとおして郷土への愛着を深めるとともに写真に対する関心を深めてもらうことを目的としているため、政策に一致する。	
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の自然や伝統行事、産業、人々の暮らし、環境、ジオパーク、エアポート等をテーマにした写真展はないため。また、入賞した作品は霧島市に帰属するため、パンフレットなどにも活用できる。	
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は霧島市を含めた県民及び環霧島会議加盟市町としており、意図についても写真展をとおして霧島市の豊かな風景等の再発見や写真に対して関心を深めてもらうこととしているので、妥当である。	
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	写真展の周知化をこれまで以上に取り組むことにより、応募数や鑑賞者の人数を増やすことが可能である。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	写真展の類似事業はあるが、いづれも限られた人の参加(写真クラブ)や限定されたテーマにであり、きりしま写真展のように幅広いテーマで応募する写真展はない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 23年度からエアポートフォトコンテストと統合して写真展を開催した。また、他の写真展との統合については、開催時期も含め検討する必要がある。	
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	霧島市主催の2つの写真展の統合により、人件費を含め効率の良い事業形態となった。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業の統合により、人件費の大幅な削減をおこなった。	
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広く市民に広報し、写真の公募を行っており、一部の市民の写真展ではないので公平・公正である。また、写真展を市民ギャラリーの開催や各地区での巡回展を行なうことでより広く市民に鑑賞の場を提供している。	
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
平成24年度の取組み ①きりしまフォトコンテストの周知化 ②写真応募数の検討 H23 → 1人3点まで H24 → 1部門3点まで(最大6点出品可) ③巡回展の充実(上野原縄文の森での実施) ④他事務事業との連携(霧島市民音楽祭) ⑤ポストカードの作成  期待される効果 ①より多くの市民に写真展を見ていただく ②霧島市の新たな発見や写真の魅力に触れる機会の提供 ③写真応募の増加	①他事業や各施設との連携 夏祭り、文化祭、松下美術館 例えば鹿屋市市民会館での出前展示会の検討 ②これまで入選した写真の活用 ・入選した写真の貸出し ・パンフレット、HPなどでの活用 ③大隅国建1300年記念事業との連携 ④大隅地域への周知化を強化する。

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
  - 一部記述不足のところがある
  - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている  
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
  - 一部に客観性を欠いたところがある
  - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	写真展の周知を図るとともに、応募規定を見直すことにより、成果向上の余地がある。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成25年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取り組み内容
①他事業や各施設との連携 夏祭り、文化祭、松下美術館 例えば鹿屋市市民会館での出前展示会の検討 ②これまで入選した写真の活用 ・入選した写真の貸出し ・パンフレット、HPなどでの活用 ③大隅国建国1300年記念事業との連携 ④大隅地域への周知強化を強化する。	特になし

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-5111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774220			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
青少年に対して優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味、関心を高めるとともに、豊かな心を養成する。 霧島市内の中学生を対象に霧島市民会館、溝辺公民館(みそめ館)等のホールにて、芸術鑑賞会を実施する。  事務手続き 県への開催希望申請 → 内定 学校との調整(送迎バスの調整等) 実施			内容 バレエ 場所 霧島市民会館 対象 全中学3年生 鑑賞者 1, 320人  平成24年度計画 内容 音楽鑑賞 場所 市内全中学校 対象 全中学生 鑑賞者 3, 933人				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	舞台演劇・コンサートの開催数	回	2	2	14	5	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	霧島市内の中学生	中学3年生の数、引率する教員の数	人	1,320	1,301	3,933	3,930
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	入場者数	人	1,124	1,352	1,262	1,404
イ	芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	舞台鑑賞して感動した生徒の割合	%	75	75	75	75
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	26,454	32,611	23,170	
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	878	1,911
	補正予算額	-50	
	予算合計	828	1,911
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	719	
支出合計	719		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
平成8年度から、溝辺地区内中学生の芸術鑑賞事業として開始された。その後、小学生の参加する事業となった。	合併により溝辺地区内から、近隣の横川、牧園へも地域を広げた。それに伴い、平成19年度より市内の全中学生を対象とする事業となっている。(対象者は中学3年生)
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
青少年に優れた舞台芸術を鑑賞させることは非常に素晴らしいことである。(学校関係者)	特になし

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	5		5						
消耗品費	5		5						
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費				147		147	53		53
通信運搬費									
広告料									
手数料				147		147	53		53
保険料									
13 委託料	250		250	1,764		1,764	630		630
14 使用料及び賃借料	464		464						
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	719		719	1,911		1,911	683		683

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	719		719	1,911		1,911	683		683
計	719		719	1,911		1,911	683		683

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	878千円		
	補正予算	-50千円		
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	▲50
予算合計	828千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	生の優れた舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされ、自発的に優れた芸術に触れる機運を高めることで、芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会教育、学校教育の観点から必要な事業であるとともに、芸術文化の振興は地域や学校における芸術文化意識の向上につながる。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市内のすべての中学3年生を対象として、芸術に対する興味、関心を喚起することを目的としており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	中学校在学中に市内全生徒を対象に舞台芸術を鑑賞を実施しており、また鑑賞した生徒も生の公演に感動しており、十分に成果が出ているが、さらに舞台内容の検討し、より良く効果が上げられるようにしていきたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	中学生の芸術鑑賞機会が減少することで、芸術文化活動に新たに触れたり、取り組むきっかけがなくなる恐れがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 青少年劇場開催事業 当該事業は児童及び生徒に芸術鑑賞の機会を提供する事業であり、統合することによって、より計画的に効率的にすることかできる。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	公演委託料のかからない県の事業を利用していることや、同日に2回公演をするなどして経費の削減を図っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	鑑賞会実施までは学校と公演団体や県との調整をする必要最小限の事務量である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	青少年健全育成の面からも霧島市内中学生への鑑賞機会提供は公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	中学生という感受性の強い時期に、優れた生の音楽や舞台芸術に触れることは芸術文化活動のきっかけづくりに大きく寄与すると考える。授業時数の増加に伴い、鑑賞時間の確保が非常に厳しい状況となっているが、今後も生徒が関心を持ち感動する舞台公演の確保に努めながら、鑑賞時期の工夫や事業形態変更など内容の充実を図りたい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・舞台内容: 音楽鑑賞 ・場所: 市内全中学校 ・対象者: 市内全中学生  ・青少年劇場開催事業との統合を図り、児童生徒の鑑賞会事業の成果向上に努める。  ・生の優れた芸術を鑑賞することで創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされる。 ・芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。 ・会場が各学校になることにより鑑賞時期の確保やバスの移動がなくなり、生徒が鑑賞に集中できる。	・多感な時期である市内の全中学生を対象に、素晴らしい生の舞台鑑賞をこれまでどおり実施していきたい。 ・25年度以降輪番制にし、3年に1回実施するため、25年度は5校開催予定。 ・開催時期については、学校行事等に併せることによって、鑑賞時間の確保をしていきたい。 ・あらゆる情報を取入れながら、安価で内容の充実した舞台公演を実施していきたい。

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
  - 一部記述不足のところがある
  - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている  
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
  - 一部に客観性を欠いたところがある
  - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	舞台内容を充実させることにより、成果向上余地がある。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成25年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多感な時期である市内の全中学生を対象に、素晴らしい生の舞台鑑賞をこれまでどおり実施していきたい。</li> <li>・25年度以降輪番制にし、3年に1回実施するため、25年度は5校開催予定。</li> <li>・開催時期については、学校行事等に併せることによって、鑑賞時間の確保をしていきたい。</li> <li>・あらゆる情報を取入れながら、安価で内容の充実した舞台公演を実施していきたい。</li> </ul>	特になし



事務事業コード	774221	事務事業名	青少年劇場開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	芸術文化グループ
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774221			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
文化・芸術に接する機会の少ない児童に生の優れた児童演劇等の舞台を鑑賞させることにより、豊かな心を養成する。 県が進めている市町村による青少年劇場を活用し、霧島市内の小学生を対象に、各学校の体育館で実施する。 各学校には3年で1回の鑑賞機会を提供できるように配分をしている。			神田 将 トリオコンサート(電子オルガン・サクソフ・ピアノ) 高千穂小、持松小、中津川小、向花小、青葉小、上小川小、小野小、小浜小、日当山小、中福良小、溝辺小、竹子小			
事務手続き ①県への開催希望申請 → 内定 ②学校との調整(日程調整、体育館の確認、複数校の鑑賞の場合はバスの手配等) ③実施		平成24年度計画				
		神田 将 トリオコンサート(電子オルガン・サクソフ・ピアノ) 天隆川小、宮内小、国分北小、木原小、川原小、国分西小、牧之原小、福山小、牧園小、三体小、万膳小、陵南小				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	公演の回数	回	5	6	7	5
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市内小学生	人	7,821	7,725	7,754	7,754
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	芸術に対する興味、関心を持ってもらう	人	2,379	2,416	2,387	2,311
イ	芸術に対する興味、関心を持ってもらう	%	70	75	75	75
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	人	26,454	32,611	23,170	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	2,327	2,440
	補正予算額	0	
	予算合計	2,327	2,440
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,205	
	支出合計	2,205	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 各市町でそれぞれのやり方で開催されていたものを、合併を機に市内のすべての小学校児童に公平に6年間で2回は鑑賞できるように開催するようにした。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 合併に伴い、対象校並びに鑑賞対象者数が大幅に増加した。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 青少年に優れた芸術を鑑賞させることは創造性を育むために非常に大切である。一学校一	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし

事務事業 コード	774221	事 務 事業名	青少年劇場開催事業			担 当 部	教育部
						担 当 課	文化振興課

単位:千円		平成23年度 (決算)			平成24年度 (当初予算)			平成25年度 (見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬									
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費									
7	賃金									
8	報償費									
9	旅費									
10	交際費									
11	需用費									
	消耗品費									
	燃料費									
	食料費									
	印刷製本費									
	光熱水費									
	修繕料									
12	役員費	51		51	74		74	53		53
	通信運搬費									
	広告料									
	手数料	51		51	74		74	53		53
	保険料									
13	委託料	1,890		1,890	2,205		2,205	1,575		1,575
14	使用料及び賃借料	264		264	161		161	196		196
15	工事請負費									
16	原材料費									
17	公有財産購入費									
18	備品購入費									
19	負担金補助・交付金									
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利息・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
計		2,205		2,205	2,440		2,440	1,824		1,824

財源内訳	国									
	県									
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源	2,205		2,205	2,440		2,440	1,824		1,824	
計	2,205		2,205	2,440		2,440	1,824		1,824	

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 23 年度	当初予算	2,327千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算								
	第1回(6月)				第5回				
	第2回(9月)				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計		2,327千円			参加費等の事業実施のための収入説明				

事務事業コード	774221	事務事業名	青少年劇場開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	生の優れた舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされ、自発的に優れた芸術に触れる機運を高めることで、芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会教育、学校教育の観点から必要な事業であるとともに、芸術文化の振興は地域や学校における芸術文化意識の向上につながる。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市内のすべての小学生を対象として輪番で、芸術に対する興味、関心を喚起することを目的としており適切である。
B	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	小学校在学中に市内全児童を対象に舞台芸術を鑑賞を実施しており、また鑑賞した児童も生の公演に感動しており、十分に成果が出ているが、より充実を図るため、公演内容を検討していきたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	小学生の鑑賞機会が減少し、芸術文化活動に新たに取り組むきっかけが減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 生徒芸術鑑賞会事業 当該事業は児童及び生徒に芸術鑑賞の機会を提供する事業であり、統合することによって、より計画的に効率的にすることかできる。
C	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	旧市町で地区分けをし、児童規模の多い学校を会場とし、そこへ近隣の規模の比較的小さな学校の児童を集めて公演を実施しており、公演数の削減、バス借上げ料の削減を図っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	開催時は学校側で対応することから、職員は開催申請や県や公演団体と各学校の日程調整をする必要最小限の事務量である。
D	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っているか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	輪番で3年に1回は芸術鑑賞の機会があることから公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	小学生在学中にすぐれた舞台芸術等に触れることは、子供たちの心身ともに健康な成長と芸術文化活動へのきっかけづくりに大きく寄与すると考えている。開催時期は輪番で3年に1回は鑑賞の機会があるため、低学年中と高学年中に見られることは、子どもの成長過程で貴重な体験となると思われる。公演内容については、学校や子どもたちの希望も十分考慮し内容の充実を図りたい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・公演内容: 神田将トリオコンサート(電子オルガン・サクソ・ピアノ) ・公演場所: 天降川小、宮内小、国分北小、国分西小、牧之原小、牧園小、陵南小 ・生徒芸術鑑賞会事業との統合を図り、児童生徒の鑑賞会事業の成果向上に努める。 ・優れた舞台芸術を生で鑑賞することで、鑑賞する喜びを体感するとともに、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされる。 ・芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	・優れた舞台芸術の提供。(輪番校:3年に1回) ・効率の良い公演会場(近隣の小規模校をバスで送迎)の選定により、経費の節減に努める。 ・開催日やスケジュール等をできるだけ早く学校側に通知し打合せを行うことで公演をスムーズに開催できるようにする。

事務事業コード	774270	事務事業名	舞台芸術鑑賞事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-5111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 23 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774270			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
市内の文化施設を活用して、優れた舞台芸術及び演奏会等の芸術鑑賞事業を開催する。 主な手順 ①事業の選定 ②業務委託 ③広報活動及びチケット販売 ④事業の開催 ⑤事業費精算 事業費の主なもの ○公演委託料 ○ポスター・チラシ・チケット印刷 ○著作権使用料 ○チケット販売手数料 など			内容	六月撓の三姉妹		
			場所	霧島市民会館		
			鑑賞者			
			平成24年度計画			
			内容	小椋桂と薩摩琵琶のタペ		
			場所	劇団四季「こころの劇場」		
			場所	霧島市民会館		
			対象	一般 こころの劇場は小学生		
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	舞台演劇・コンサートの開催数	回		1	2	2
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	市民	地域(市民)の人口	人	127,365	129,098	129,328
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	鑑賞した市民の数	人	786	2,550	2,550
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	32,611	23,170	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	4,414
	補正予算額	0
	予算合計	4,414
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	1,696
	一般財源	2,605
支出合計	4,301	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
文化施設を活用した文化事業を展開し、市民に広く芸術文化に触れる機会の充実を図ることを目的に開始した。	余暇時間の増大や情報化、国際化の進展に伴い、生活スタイルや価値観が変化し、物質的充実から生きがいやゆとりといった精神面の豊かさを求める方向に変わってきており、芸術鑑賞など文化面へのニーズが高まってきている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
自主事業参加者アンケートによると、多様で高度な芸術鑑賞を低料金で開催してほしい、という意見がある。	特になし

事務事業コード	774270	事務事業名	舞台芸術鑑賞事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	28		28	120		120	120		120
消耗品費	18		18	20		20	20		20
燃料費									
食料費	10		10	10		10	10		10
印刷製本費				90		90	90		90
光熱水費									
修繕料									
12 役員費	68		68	100		100	100		100
通信運搬費									
広告料									
手数料	68		68	100		100	100		100
保険料									
13 委託料	4,200		4,200	2,940		2,940	3,000		3,000
14 使用料及び賃借料	5		5	1,060		1,060	1,060		1,060
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	4,301		4,301	4,220		4,220	4,280		4,280

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	1,696		1,696	2,295		2,295	2,280	
一般財源	2,605		2,605	1,925		1,925	2,000		2,000
計	4,301		4,301	4,220		4,220	4,280		4,280

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	4,414千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算				チケット収入				
	第1回(6月)				参加費等の事業実施のための収入説明				
	第2回(9月)		第5回						
	第3回		第6回						
	第4回		第7回						
	予算合計	4,414千円							

事務事業 コード	774270	事務 事業名	舞台芸術鑑賞事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供は、芸術文化に対する造詣が深まり日常生活にゆとりと潤いを与え、芸術文化活動に取り組むきっかけが得られることにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民が心豊かで質の高い生活と創造性に富んだ活力ある地域社会を築くために、市が優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	より多くの市民が優れた舞台芸術を自発的に鑑賞する機運を高めてもらうためにおこなうものであり、対象・意図とも適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	舞台鑑賞事業の内容を市民により詳しく周知すると同時に、市民ニーズを的確に捉えた事業の選定を行い事業を実施することで、より多くの市民が鑑賞することにつながる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民に対して舞台芸術を鑑賞する機会を提供できなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	単独コンサートの開催ではなく、ツアーや南九州での他市町村との連携を図った企画を実施し、旅費などの経費削減に努めている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	文化事業に関心のある市民が集い、実行委員会を組織することにより、チケット販売や公演当日の運営スタッフを市民ボランティアにお願いすることで削減できる。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っているか?不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種ジャンルの催し物を計画的に実施し、鑑賞者の対象年齢や市民の鑑賞ニーズを的確に捉え幅広く市民に鑑賞機会を与えている。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	・これまでの自主文化事業は、職員がチケットを販売するなどして集客に苦慮している。 ・実行委員会を組織して、多くの市民が参画できるような体制を作る必要がある。 ・事業の選定については、アンケートなどを参考にして、市民ニーズを的確に捉えた舞台内容を選定する必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
平成24年度は一般市民向けの舞台鑑賞事業(「小椋桂と薩摩琵琶の夕べ」有料)と劇団四季による舞台公演「こころの劇場」を市内の小学校6年生全員に観賞させ、生の舞台芸術に触れる。 舞台鑑賞事業については、文化事業に関心のある市民が集い、実行委員会を組織することにより、広報やチケット販売、公演当日の運営などを実施する。 市民参加型の文化事業にすることによって、より身近な舞台鑑賞会となり、周知化や多くの鑑賞者の来場が期待される。児童に生で優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供することで、芸術文化に対する造詣が深まる。	・実行委員会方式の組織化を進めて行く。 ・事務量軽減を図るため、舞台公演全般を実行委員会が運営できるような体制をとっていく。 ・公演当日のスタッフを含め、市民ボランティアの活用を図る。

事務事業コード	744223	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-5111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 55 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	6	文化振興費		霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774223				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
財団法人ジェスク音楽文化振興会に霧島国際音楽祭の運営補助金を支出している。 【活動内容】 霧島国際音楽ホールを主会場として国内外で活躍する講師陣による講習会と演奏会を開催している。 期間 7月21日から8月7日(18日間) 主催 財団法人ジェスク音楽文化振興会・鹿児島県・財団法人鹿児島県文化振興財団 共催 霧島市 後援 霧島市教育委員会 【事務事業】 補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言								
補助金・負担金の交付先		財団法人ジェスク音楽文化振興会		補助金の対象経費				
				霧島国際音楽祭の運営に要する経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	演奏会の回数	回		53	58	50	50	
イ	講習会の回数(クラス・コース)	回		15	15	15	15	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	市民	本来は県内外を対象としているが、ここでは市民を対象とした		人	127,512	127,365	129,098	129,328
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	音楽祭を通して、音楽鑑賞の普及に努める	音楽を鑑賞した人数		人	15,304	17,986	17,000	17,000
イ	世界の演奏家による、実技指導を開催	受講生の数		人	149	165	160	160
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加したのべ人数		人	26,454	32,611	23,170	
イ								

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	7,060	7,060	1980年鹿児島県の音楽文化向上のため講習会と演奏会を組み合わせた音楽祭がスタートした。平成6年第15回霧島国際音楽祭から霧島国際音楽ホールを主会場として開催されている。	合併前に旧牧園町及び霧島町から支出していた補助金を新市に引継ぎ同額を補助している。霧島市となり、市民の音楽祭への認識度は高まったが、参加のあり方が問われている。
	補正予算				
	予算合計	7,060	7,060		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,060			
支出合計	7,060				

事務事業 コード	744223	事務 事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業						担当部	教育部
									担当課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名								平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金
1	財団法人ジェスク音楽文化振興会								補助金	7,000	補助金	7,000	補助金	7,000
									自主財源	72,715	自主財源	77,639	自主財源	77,000
	合計								79,715	84,639	84,000			
自主財源率								91%	92%	92%				
2	霧島国際音楽祭シンフォニーの丘のビュッフェパー ティーinみやま実行委員会								補助金	60	補助金	60	補助金	60
									自主財源	1,134	自主財源	1,140	自主財源	1,140
	合計								1,194	1,200	1,200			
自主財源率								95%	95%	95%				
3									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
自主財源率														
4									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
自主財源率														
5									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
自主財源率														
6									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
自主財源率														
7									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
自主財源率														
8									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
自主財源率														
9									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
自主財源率														
10									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
自主財源率														
計								補助金負担金合計	7,060	補助金負担金合計	7,060	補助金負担金合計	7,060	
								自主財源合計	73,849	自主財源合計	78,779	自主財源合計	78,140	
								自主財源率	91%	自主財源率	92%	自主財源率	92%	

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名								平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の支払先				
												全国	九州	県	その他	
1									負担金額							
2									負担金額							
3									負担金額							
4									負担金額							
5									負担金額							
合計																

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	7,060
補正予算	
合計	7,060

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>



事務事業コード	744223	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	心豊かで質の高い生活を送り、創造性に富んだ活力ある地域社会を築くために、優れた音楽に触れることのできる音楽祭は文化の創造を図る街づくりに必要であり文化の振興につながる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民に優れた芸術の鑑賞機会を提供することは、文化の香り高いまちづくりに必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は音楽祭の演奏会を鑑賞する市民であり、意図については音楽祭を通して音楽鑑賞の普及に努めていることから妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	講習会と演奏会がセットになった音楽祭である。受講者数は横ばいであるが演奏会への入場者は若干伸びている状況である。演奏会の内容を魅力あるものにし、観客数を増やすことは期待できる。また、受講生の申込みについても広く周知することで増加が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	霧島国際音楽祭は国内外で評価の高い得ており、これまで30年以上の歳月をかけて、「音楽の街・霧島」を作り上げてきた。このような状況の中で廃止・休止することは、街づくりにマイナスイメージを与える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	全体事業費の自主財源率は90%を越えているが、主催者の経費削減の努力や有料公演会の観客を増やすことで交付額の削減は可能であると思われる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の業務としては、補助金交付の手続き並びに広報、地元開催(ロビーコンサート)の補助などであり、音楽祭運営には直接携わっていないため、今以上の業務時間の削減はできない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受講生からは受講料を徴収し、演奏会については入場料を徴収している。公演会の開催等は広く市民に周知しており公平・公正に運営されている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	昭和55年の開始以来、本年は32回を数え国内有数の音楽祭として定着してきている。しかし、年々観客数は増えているが、霧島市民の観客が増えているかは疑問である。今後は、さらなる周知を図り、霧島市民会館やシビックセンターで行われるロビーコンサートなど身近な場所で開催される演奏会の観客を増やす努力が必要である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
全市民にこれまで以上に親しまれ、演奏会への参加や音楽家との交流(クリニック)が図られるような国際音楽祭にするため、下記のような事業に取り組む。 ①小中高校に対して演奏者による音楽指導(クリニック)を積極的に取り組む。 ②指揮者や音楽家との交流ができるような参加型のコンサートを実施する。 ③より身近な音楽祭とするため、霧島市民会館でのコンサートを実施する。 ④霧島市民会館やシビックセンターで行われるロビーコンサートなど身近な場所で開催される演奏会の周知方法を検討する。	①国際音楽祭が市内で開催される立地的条件を大いに活用して、児童生徒を中心に、世界的著名な音楽家から指導が受けられる講習会(クリニック)をこれまで以上に積極的に取り入れることにより、音楽の楽しさと音楽技術の向上を図る。 ②市民が音楽祭に参加できるような、ジョイントコンサートを実施する。

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-5111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 20 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	6	文化振興費		
	コード	774226			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
霧島国際音楽祭開催時期に合わせて、国際音楽祭招待アーティスト等と市民の参加する市民音楽祭を開催する。市民音楽祭に出演する団体とゲスト演奏家との共演や、専門家としての音楽指導(クリニック)を行うなど交流を図る機会を提供する。また、実行委員会方式をとり、市民の意見を取り入れた、より市民に身近な音楽祭とする。 【事務内容】 ・実行委員会の設置、開催 ・出演団体を含めたプログラム内容の決定 ・ポスター・チラシ作成など広報活動 ・音楽祭実施(市民団体演奏、ゲスト演奏、市民団体とゲストの共演、合同演奏) ・ゲスト演奏家による音楽指導(クリニック) ・各事務精算			開催日:7月18日(月祝) 会場:みやまコンセル 出演数:6団体 入場者数:600人			
			平成24年度計画			
			開催日:7月16日(月祝) 会場:みやまコンセル 出演数:6団体 入場者数:750人			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	音楽祭出演団体数	団体	6	6	6	6
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	市民	人	127,487	127,365	129,098	129,328
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市民音楽祭に関心を持ってもらう	人	716	600	750	750
イ	霧島国際音楽祭に関心を持ってもらう	人	15,304	17,986	17,000	18,000
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	人	26,454	32,611	23,170	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	1,393
	補正予算額	-170
	予算合計	1,223
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,223
	支出合計	1,223

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
霧島国際音楽祭が霧島市で開催され、平成21年度で30回を迎えるにあたり、この音楽祭の市民への周知と盛り上げを図るため、霧島国際音楽祭招待アーティスト等と市民参加の音楽祭として開催した。	霧島市民音楽祭を開催することにより、霧島国際音楽祭への関心が高まるとともに、市民の音楽文化の向上が図られている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
小・中学校並びに一般の音楽団体が一堂に会しての演奏会は、市民の音楽レベルの向上と、音楽文化の発展に大きく寄与している。	特になし

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,223		1,223	1,250		1,250	1,250		1,250
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,223		1,223	1,250		1,250	1,250		1,250

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,223		1,223	1,250		1,250	1,250		1,250
計	1,223		1,223	1,250		1,250	1,250		1,250

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	1,393千円		
	補正予算	-170千円		
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	▲170
予算合計	1,223千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民音楽祭を開催することによる舞台芸術活動の発表機会と鑑賞機会の提供は、日常生活に生甲斐と潤いを与え、文化の薫り高いまちづくりにつながり妥当である。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民が心豊かで質の高い生活と創造性に富んだ活力ある地域社会を築くため、市の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	より多くの市民が優れた舞台芸術に触れることにより音楽の良さを再認識することができ、また、出演者も市内で活動している団体に広く呼びかけていることから妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市民の参加者状況は良好で満席となっており、来場された方々も非常に満足して帰られるので十分成果は出ているが、今後は幅広い音楽ジャンルを提供するため、出演団体の選出等に配慮していきたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民が参加する演奏会であり、舞台芸術活動の発表機会や鑑賞機会が減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	出演団体のリハーサルを音楽祭当日に行うことで、バスの借り上げ料などを削減に努める。また、国際音楽祭との連携等により、チラシを両面活用するなど、経費の削減に努める。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	実行委員会に運営委員会(実働)を設置したり、スタッフの公募などによって、開催時の役割分担を図り、職員の負担軽減に努めることができる。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民全体に呼びかけて、開催するため公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民音楽祭も4回を数え、市民参加の音楽祭として定着化してきており、今後も継続して取り組み、より市民に身近な音楽祭に育成する必要がある。ボランティア等を活用してこれまで以上にコスト削減を図りたい。また、ゲスト出演者による音楽指導(クリニック)は非常に効果があり、今後も出演者と調整しながら続けていきたい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 ・邦楽を取入れたプログラムとする。 ・国内でも有数の音響空間をもったみやまコンセルで、日本を代表する音楽家と同じ舞台に立つことにより、演奏技術の向上はもとより、音楽に取り組む考え方も含め、大きく成長していくことを期待したい。 ・スタッフ(ボランティア)だけでなく、出演者による運営を実施することで、これまで以上に市民による手づくりの音楽祭としていく。 ・開催時期の検討。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 ・市民音楽祭にふさわしく、あらゆるジャンルの音楽に参加していただくため、出演団体の選考に配慮していきたい。 ・大隅国建国1300年記念事業の一環として邦楽(例えば薩摩琵琶など)の出演も検討する。 ・ゲスト演奏家について、可能な限り霧島市出身のアーティストの選定ができないか検討する。 ・市民による音楽祭とするため、市民スタッフ(ボランティア)を積極的に取り入れていきたい。 ・開催時期については、近年、霧島国際音楽祭入場者の増加が見られ、本事業との連携は一定の目的を達したと思われる。また、出演者(中高生)がコンクールの日程で市民音楽祭に参加できない状況もあることから、8月後半にできないか、関係者と協議を図りながら進めていきたい。

事務事業コード	774211	事務事業名	霧島美術展開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-5111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 16 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	6	文化振興費		
コード	774211				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
県内在住者及び環霧島会議宮崎県側市町の高校生以上から美術作品(絵画)を公募し優秀作品を展示表彰する。今回から子ども絵画展をジュニア部門として統合した。ジオパークに関しては環霧島の地質遺産を取り入れた作品も加えて募集した。 実行委員会を組織して次のような業務を行なう。 ①実行委員会(開催要項決定など) → ポスター・チラシ作成 → 広報 ②搬入(受付作業) ③審査 ④入賞作品展示→表彰式 ⑤搬出 ⑥巡回展(松下美術館、その後ジュニア部門は市内施設で実施) ⑦実行委員会(精算事務)			霧島美術展にジュニア部門を組入れた。 展示期間 10月8日~10月21日 応募総数 1277点 応募人数 1208人 入選以上 478点				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	出品点数	点	977	1,277	1,300	1,300	
イ	出品者数	人	903	1,208	1,250	1,250	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	市民及び美術愛好家	市民の数	人	127,512	127,836	127,799	129,328
イ	県民及び美術愛好家	県民+環霧島会議加盟市町の数	人	1,786,130	1,777,595	1,765,025	1,752,672
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	市民の美術に対する関心を高める	美術展入場者数	人	1,400	3,430	3,500	3,500
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組みきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	26,454	32,611	23,170	
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	23年度(決算)	1,175	24年度(予算)	1,250	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 平成16年に旧国分市制50周年を記念して「国分美術展」が、平成元年に旧霧島町において「霧島を描く8号洋画展」として開始された。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 合併に伴い、旧霧島町で開催されていた霧島を描く8号洋画展も統合して開催するようになり、出品者数も増加している。また、回を重ねる毎に作品のレベルが向上している。子ども絵画展を同時開催している。
	補正予算額		0				
	予算合計		1,175		1,250		
決算額	国庫補助金		0			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 霧島市美術協会及び行政を主体として実行委員会を設置し、美術展の運営を行っているが、行政のみで運営してほしいという意見が強い。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 「霧島市美術展の今後について」 ・霧島市美術展がスタートして5回を数えるが、現状と課題について。 ・霧島市美術展を総合美術展として発展させる考えはないか。
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		1,169				
支出合計		1,169					

事務事業コード	774211	事務事業名	霧島美術展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,169		1,169	1,250		1,250	2,000		2,000
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,169		1,169	1,250		1,250	2,000		2,000

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,169		1,169	1,250		1,250	2,000		2,000
計	1,169		1,169	1,250		1,250	2,000		2,000

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	1,175千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,175千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774211	事務事業名	霧島美術展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	絵画に触れる機会の提供は美術に関する知識と教養の向上につながり、市民が芸術文化活動に取り組むきっかけとなる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	絵画の鑑賞や発表(公募)する機会の提供は、地域の美術に対する関心を高めるとともに、地域の文化の向上につながり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民をはじめ県民や環霧島地域を対象にして、広く美術展への公募を呼びかけていることにより、多彩でハイレベルな絵画が集まることで、美術に対して関心を高めることを目指しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	これまで、展示会場の確保(松下美術展・巡回展)や展示方法を工夫することにより、美術作品を鑑賞する人を増やしてきた。今後もこれまで以上に美術展の周知化を図ることで成果の向上は可能である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	美術展に対する関心や応募者数は年々向上の傾向であることから、本事業を廃止又は休止した場合、文化の向上や地域活性化に与える影響は大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	平成19年度に出品料を値上げしており、今後の出品料の増額は見込めないが、応募者の確保やポスター・パンフレット等の見直しなど事務費のコスト削減を実施していきたい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員で対応してきた、絵画の搬入・搬出作業や事務入力作業を、外部委託やボランティアの導入を図ることにより、職員の事務量を削減した。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民をはじめ県民や環霧島地域を対象としているが、出展料を徴収しており、展示会については無料で実施していることから公平公正である。なお、ジュニア部門の出展料は無料である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	開催要項の案内の時期を早めることで、一般・ジュニア部門ともに出展数の増加が期待できると考える。展示会場については、シビックセンターでの展示終了後、松下美術館において展示会を実施した。また、ジュニア部門については、巡回展を実施した。また、審査から展示までの日程、職員の事務量の削減はこれ以上望めないが、事業費については削減や広告料収入など見直す必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・霧島美術展を「きりしま美術展」と改め、市民が親しみやすい美術展とする。 ・パンフレットの見直し(表紙のカラー化)を行い、コンパクトで見やすくする。また、案内時期を早める。 ・シビックセンターでの展示終了後、昨年に引き続き松下美術館で巡回展を実施していく。 ・ボランティアの更なる募集をかける。 ・霧島市美術協会の協力により、地域や学校で実施するスケッチ大会や美術の授業に会員を派遣して、絵画の技術向上と美術展への出展を促す。 ・経費の削減を進めるとともに、市民に関心をもてる美術展とする。	・大隅国建国1300周年記念事業に併せた事業を展開する。 ・きりしま美術展の10周年に併せて事業の見直しを検討する。 ・ボランティアスタッフの充実を図る。 ・展示方法を工夫する。 ・巡回展を実施する。

事務事業コード	774214	事務事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	溝辺教育振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	教育グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	58-3191
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 63 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774214				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
溝辺たかや太鼓保存会の運営費補助として補助金を交付している。 (市の活動) 当保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。また、運営の指導助言を行っている。 (保存会の活動) 週1回の練習を行い、演奏技術の向上を図り、市主催行事や民間からの演奏依頼に応じている。最近では、小学生の加入もあり、成人と活動を共にすることにより、社会教育活動の一環として青少年健全育成に努めている。 ※溝辺たかや太鼓保存会とは、町興し事業の一環として旧溝辺町が発足した団体。								
補助金・負担金の交付先	溝辺たかや太鼓保存会		補助金の対象経費	溝辺たかや太鼓保存会の運営に要する経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	太鼓演奏を披露した回数		回	0	0	3	3	
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	溝辺たかや太鼓保存会会員	補助対象団体の会員数		人	15	3	10	10
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	自主的に参画する会員を増やすため、団体の魅力を発信する	太鼓演奏を披露した回数		回	0	0	3	3
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る	芸術文化団体・組織の数		団体	229	224	253	
イ	"	芸術文化団体・組織の会員数		人	3,794	3,614	4,433	

(2) 事業費		単位：千円	
	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	27	25
	補正予算		
	予算合計	27	25
決算額	国庫補助金		
	県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源		
	支出合計		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
昭和63年8月、旧溝辺町において町興し事業の一環として発足した。太鼓は、旧溝辺町が備品として購入。打ち子は広く町民に呼びかけ、成人男女約30人が応募した。同時に保存会を立ち上げるとともに、活動運営に係る経費助成を図るため補助金の交付を開始した。	会員が当初成人のみであったが、現在は小学生も会員になっている。会員の減少傾向が見られる。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
活動が知られることにより、地域やイベント主催者からの出演依頼がある。	特になし



事務事業 コード	774214	事 務 事 業 名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	溝辺教育振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)		
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	溝辺たかや太鼓保存会									3人	補助金 0	自主財源 0	補助金 25	自主財源 25	補助金 25	自主財源 25
	対象 地区			○						合計	合計	50	合計	合計	50	
2											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計		合計	合計		
3											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計		合計	合計		
4											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計		合計	合計		
5											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計		合計	合計		
6											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計		合計	合計		
7											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計		合計	合計		
8											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計		合計	合計		
9											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計		合計	合計		
10											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計		合計	合計		
計									3人	補助金負担金合計	自主財源合計	補助金負担金合計 25	自主財源合計 25	補助金負担金合計 25	自主財源合計 25	
										補助金負担率	自主財源率	補助金負担率 50%	自主財源率 50%	補助金負担率 50%	自主財源率 50%	

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	27
補正予算	
合計	27

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	774214	事務事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	溝辺教育振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大人から子どもまで太鼓を通じ交流を深めており、併せて地域おこし、ふるさとづくりに寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	住民の地域おこしの一環を支援することは、行政の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	たかや太鼓保存会会員を対象に、団体の魅力を発信することを意図しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	太鼓演奏を披露する機会を設け、団体の魅力を発信することで成果向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助により団体活動の活性化に繋がっているため、廃止により、保存会が衰退していく可能性がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 少年少女合唱団運営事業、霧島神楽振興会運営支援事業 文化芸術支援事業として一体化することで、事業の成果向上を図る。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	会員の加入や会費の増額、太鼓披露に伴う謝礼などを歳入とすることで、自主財源率をあげることは可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の業務としては、補助金交付事務と各種イベントへの参加調整のみであり、削減に余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	小学生以上なら会員になりたい人は誰でもなれるため公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	平成23年度は、人数等の調整ができず、練習を含め発表の機会はなく休止の状態 で補助金の交付は執行しなかった。 今後、保存会のあり方を含め、会員の募集や練習の再開など、保存会と協議する 必要がある。また、保存会の活性化を図るため、地域の行事などでの発表の機会を 確保するなど支援をしていく。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・保存会のあり方について協議を行う。 ・発表の場を確保して団体の活性化を図る。 ・大人の会員増を目指す。  ・少年少女合唱団運営事業、霧島神楽振興会運営支援事業との統合を図り、文化芸術支援事業として一体化することで、事業の成果向上に努める。  大人から子どもまで太鼓を通じ交流を深めて、併せて地域おこしやふるさとづくりに寄与する。	・大人の会員増を目指す。 ・霧島市内全体から会員の募集を図る。 ・各イベントへの参加を促す。

事務事業コード	774215	事務事業名	少年少女合唱団運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	45-5111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774215				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
霧島市少年少女合唱団に運営費の補助として補助金の支出と運営の支援を行っている。 【活動内容】合唱団は市内の小学1年生から中学3年生までを対象として団員を募り、原則毎月3回土曜日(午前)を練習日としている。霧島市少年少女合唱祭の開催や鹿児島県合唱連盟合唱祭、地区の文化祭等に出演している。 【事務事業】補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言								
補助金・負担金の交付先	霧島市少年少女合唱団		補助金の対象経費	112				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	演奏会等の出演回数		回	6	5	6	6	
イ	練習回数		回	34	37	33	33	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	児童数	市内の小学校に在籍している児童の数		人	7,821	7,725	7,754	7,754
イ	生徒数	市内の中学校に在籍している生徒の数		人	3,931	3,929	3,933	3,933
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	合唱を通して、心豊かな青少年育成と音楽文化向上を図る	少年少女合唱団員の数		人	43	51	45	45
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組む仲間が増える	芸術文化団体・組織の会員数		人	3,794	3,614	4,433	
イ								

(2) 事業費 単位：千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
当初予算額	100	90
補正予算		
予算合計	100	90
決算額		
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	100	
支出合計	100	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
学校週5日制(隔週)の導入に伴い、合唱による児童生徒の健全育成を推進するために、平成8年度に旧国分市を中心に結成された。	文化活動(音楽)に対して興味を持つ児童生徒の数は横ばいとなっている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
少年少女合唱団は以前単人、横川地区にもあったが、現在は当該合唱団しかないため、市内全体から募集をして活動してほしい。	特になし

事務事業 コード	774215	事務 事業名	少年少女合唱団運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	霧島市少年少女合唱団									51人	補助金	100	補助金	90	補助金	90
	対象地区	●								自主財源	467	自主財源	450	自主財源	450	
									合計	567	合計	540	合計	540		
									自主財源率	82%	自主財源率	83%	自主財源率	83%		
2											補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源		
									合計		合計		合計			
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
3											補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源		
									合計		合計		合計			
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
4											補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源		
									合計		合計		合計			
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
5											補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源		
									合計		合計		合計			
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
6											補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源		
									合計		合計		合計			
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
7											補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源		
									合計		合計		合計			
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
8											補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源		
									合計		合計		合計			
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
9											補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源		
									合計		合計		合計			
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
10											補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源		
									合計		合計		合計			
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
計										51人	補助金負担金合計	100	補助金負担金合計	90	補助金負担金合計	90
											自主財源合計	467	自主財源合計	450	自主財源合計	450
											自主財源率	82%	自主財源率	83%	自主財源率	83%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名			平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の支払先				
	負担金額						全国	九州	県	その他	
1											
2											
3											
4											
5											
	合計										

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	100
補正予算	
合計	100

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	774215	事務事業名	少年少女合唱団運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	合唱団の設置により、年間を通じて合唱の練習に取り組むことは音楽環境の充実と青少年の健全育成につながる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	音楽環境の充実による文化芸術の向上と、団員の音楽の向上並びに健全育成を図ることは、本市の役割であり活動補助金の支出は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は市内のすべての小中学生であり、意図も音楽文化の向上を目指しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	合唱団員を募集して団員を増やすことにより、より充実した合唱(例えばオペレッタなど)に取り組むことができる。また、子どもたちが異年齢の集団の中で活動することは、仲間づくりや青少年健全育成の向上に期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金の交付廃止により合唱団活動の停滞が予想される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業、霧島神楽振興会運営支援事業 文化芸術支援事業として一体化することで、事業の成果向上を図る。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、合唱団員の負担金は会費6,000円、保険料1,000円であり、事業費の自主財源率も80%を越えていることから、現状が妥当である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、職員の事務は補助金交付に伴う手続きと、合唱団運営のための一部の事務作業であり、近年合唱団の指導者や保護者による育成会を設立・充実させたことから、担当職員の仕事量の大幅な削減がなされた。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	団員の募集は市内の全学校の児童生徒を対象にしており、また全体事業費の自主財源率が80%をこしていることから、公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	年間をとおして練習や合唱祭、老人ホームへの慰問など活発に活動しており、十分に事業の目的に達していると考えている。また、合唱団主催の合唱祭では、小・中学校の合唱部や一般の合唱団に出演をお願いしており、他団体との交流も活発に行っている。団員は、前年と比較して増加しているが、そのほとんどが国分・隼人地区の子どもたちであり、今後は他地区からの入団も期待している。	

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・主な取組み 霧島市民音楽祭への参加、鹿児島県合唱祭の参加 白い歌青い歌フェスティバルの参加 霧島市文化協会国分支部文化祭への参加 コロ・フェスタ2012in都城への参加 定期演奏会(合唱祭)の実施 ・溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業、霧島神楽振興会運営支援事業との統合を図り、文化芸術支援事業として一体化することで、事業の成果向上に努める。 ・期待される効果 音楽(合唱)の素晴らしさを市民に広めることができる 合唱団の活性化、外部講師によるクリニックの実施 各地域や異年齢による交流	・より充実した合唱(例えばオペレッタ、アカペラなど)への取り組み ・各合唱祭に参加し合唱団の活性化を図る。合わせて団員の参加者を増やす。 鹿児島県合唱祭 白い歌青い歌フェスティバル等の参加 定期演奏会の実施 ・他市の合唱団との交流を図る 県内の合唱団 山鹿少年少女合唱団など

事務事業コード	774216	事務事業名	文化協会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	45-5111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 H 18 年度～）
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ~ ）	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774216				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)							
霧島市文化協会に運営費の補助として補助金を支出していると同時に運営の助言を行っている。 霧島市文化協会は、市内で文化活動を目的とする各種団体及び同好会が相互の連絡協調を図り研さんを深めるために結成している任意団体。霧島市文化協会の傘下には、旧市町ごとに支部文化協会を置き運営を行っている。 【活動内容】 霧島市文化協会：霧島市芸術祭、会報霧島の発行、総会の開催 文化協会支部：研修会・文化祭の実施、支部文化協会だよりの作成、チャリティショー(隼人・国分) 【事務事業】 補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言							
補助金・負担金の交付先	霧島市文化協会		補助金の対象経費	霧島市文化協会の運営に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	文化協会による文化事業の開催数(文化祭、チャリティショーなど)		回	11	11	10	10
イ	文化協会による文化事業への参加団体数		団体	251	288	250	250
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	文化協会団体	文化協会団体数	団体	229	224	224	224
イ	文化協会会員	文化協会会員数	人	3,815	3,614	3,600	3,600
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行う。	会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行った人の割合	%	75	73	75	76
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	スポーツ、芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。	芸術文化団体・組織の数	団体	229	224	253	
イ	スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。	芸術文化団体・組織の会員数	人	3,794	3,614	4,433	

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	23年度 (決算)	24年度 (予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 市の合併を契機に平成18年5月に霧島市文化協会が設立され、旧文化協会個別に交付していた補助金を一本化したことにより本事業を開始した。なお、旧市町の文化協会は支部として活動を継続している。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 全体的に活動内容は活発であるが、会員の減少に伴い活動が停滞している地区もある。	
予算額	当初予算額	1,916			
	補正予算				
	予算合計	1,916			
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 文化協会への加盟団体や会員数の減少が続いているので、より積極的な取組みをしてほしい。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,916			
支出合計	1,916				

事務事業 コード	774216	事務 事業名	文化協会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島市文化協会									補助金	1,916	補助金	1,800	補助金	1,800
										自主財源	518	自主財源	492	自主財源	492
	合計									2,434	2,292	2,292	21%	21%	
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
計										補助金負担金合計	1,916	補助金負担金合計	1,800	補助金負担金合計	1,800
										自主財源合計	518	自主財源合計	492	自主財源合計	492
										自主財源率	21%	自主財源率	21%	自主財源率	21%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名			平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額						全国	九州	県	その他
1										
2										
3										
4										
5										
合計										

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	1,916
補正予算	
合計	1,916

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	774216	事務事業名	文化協会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会による文化活動を日常生活の中に積極的に取り入れてもらうことは、本市全体の芸術文化の振興につながる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会を核とする文化団体に市が支援することは霧島市の芸術文化向上に寄与していることから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	文化協会会員、団体を対象に、充実した文化活動を行うために助成していることは、結果として本市の芸術文化向上に寄与していることから、対象・意図とも適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	文化協会等の組織の充実を図り、積極的な文化活動を展開し、新たな会員や新規団体の掘り起こしを行う。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化活動の停滞や地域の文化活動の担い手が減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	会費の値上げや自主財源の確保により、事業費の削減は可能である。しかし会費の値上げは協会から退会する可能性がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、文化協会は事務局を設け、文化協会の運営に関する事務は全て協会が実施している。職員の業務としては、補助金の交付と文化祭等の主な行事の補助であり、最小限の事務量である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化祭等、市民を対象に開催されている。また、それぞれの会員が文化協会費を負担している。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	・全体的に積極的な活動がなされ、運営も自立している。 ・会員の高齢化が進んでおり、若年層や新しい会員の入会促進が課題である。 ・自主財源率が低く補助金への依存度が高く、会費の増加や広告収入などによる自主財源の確保が課題である。 ・平成23年度から芸術祭のパンフレットに広告を入れ予算の確保に努めた。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・霧島市文化協会 霧島市芸術祭の実施、会報「きりしま」の刊行 ・各支部 文化祭、チャリティーショー等の実施  ・積極的な文化活動の展開や活動内容の周知を図ることにより、組織の充実、活性化と新たな会員や新規団体の掘り起こしにつながることを期待される。	・霧島市芸術祭や文化祭、チャリティーショー等の充実を図る。 ・事業費の有効活用や、会費の見直しについて協会に働きかけを行っていきたい。 ・個人会員の加入を認めることにより、会員の増加を図る。 ・国民文化祭に向けた取り組みを進める。 ・自主財源率を高めるため、広告による収入の確保に努める。



事務事業コード	774318	事務事業名	「霧島市を知る」ハンドブック作成事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	1	伝統文化を学ぶ		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 21 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	文化財保護法、霧島市文化財保護条例
	コード	774318			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
霧島市は古くは縄文時代から天孫降臨、クマソ・ハヤト伝説、大隅国の建国、島津氏の台頭など歴史的な文化財が多く点在している。そこで、新霧島市の合併に伴い、「霧島市を知る」をテーマとした事業を展開し、その一環として市内にある文化財をテーマ毎に紹介したハンドブックを作成する。市民へ販売予定。 ・事業実施年度 当面、平成21年度~平成30年度とする。(事業延長の可能性あり) ・刊行予定(テーマ):①霧島の田の神 ②霧島の石仏 ③霧島の石塔 ④霧島の郷土芸能 ⑤霧島の城郭 ⑥霧島の史跡(石造物) ⑦霧島の遺跡 ⑧霧島の年中行事 ⑨霧島の天然記念物 ⑩霧島の石造物(石橋、石倉、水門、井堰) など ・パンフレット作成数 :2000冊 ・パンフレットは販売する予定 :500円(1冊)			市内各地区の石仏84件を調査した資料をまとめ、ハンドブックを刊行した。 発行部数:2000部			
			平成24年度計画 「霧島の石塔」の調査(予定)			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を紹介する資料(刊行する冊子の数)	冊	2,000	2,000	0	2,000
イ	調査した文化財の数	件	119	84	120	0
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	市民	人	127,487	127,365	129,098	129,328
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	ハンドブックで霧島市の文化財を知る	冊	243	196	200	200
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	人	80.9	75.8	75.0	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	900
	補正予算額	0
	予算合計	900
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	98
	支出合計	798

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 文化財を後世に伝えていくためには、文化財に対する市民の認識を高めることが重要である。そこで、市内の現存する文化財を調査し、市民に分かり易く周知するため、ハンドブック(オールカラー)作成することとした	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? ・調査を初めて、把握していない文化財が多数明らかになってきた。 ・文化財の盗難や紛失が多くなって来ている。 ・文化財に興味を示す人が増えてきている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? ・市民から市内に点在している文化財の種類や数、場所を知りたいという人が増えてきている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。

事務事業コード	774318	事務事業名	「霧島市を知る」ハンドブック作成事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	168		168	50		50	215		215
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	630		630	30		30	685		685
消耗品費	14		14	15		15	15		15
燃料費	7		7	10		10	10		10
食料費									
印刷製本費	609		609	5		5	660		660
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	798		798	80		80	900		900

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	98		98	89		89	50	
一般財源	700		700	-9		-9	850		850
計	798		798	80		80	900		900

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	900千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	900千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳
ハンドブック販売
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	774318	事務事業名	「霧島市を知る」ハンドブック作成事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ハンドブックを作成することで市民が市内の文化財を正しく知ると共に、現存する文化財が後世に残る(記録保存)。結果として、地域の伝統文化を学び、地域を知ることができるという政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統文化を市民に周知し、本市の歴史・文化への理解を深めてもらうことは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は市民と文化財とし、それぞれ文化財を知ること、後世に伝えることを意図としており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	毎年ジャンルごとの文化財を調査し、その成果をより多くの市民に購入してもらうことで成果は向上していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	消失する文化財も少なくなく、また、伝承されてきた無形の文化財も高齢化や核家族化に伴って失われつつあるため、早期の調査や記録保存が必要である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 文化財保護啓発事業  文化財保護啓発事業との統合により、文化財の周知化と成果向上を図る。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	調査員の導入や職員による報告書の作成(原稿作成)まで行っており、これ以上のコスト削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	専門家による執筆依頼や文化財の所在地などは市民に情報提供を呼びかけたり、また調査員の導入などを図るなどして、職員の業務時間を削減に努めている。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	刊行されたハンドブックは、市民に有償で販売することで、受益と負担の公平性が保たれる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	平成22年度から平成23年度に調査した成果を取りまとめ、ハンドブック(霧島市の石仏)を2000部刊行した。現地調査については調査員やボランティア等に依頼をしているが、人員の確保に苦慮している。調査には現地調査を含め期間が必要なので、調査成果品であるハンドブックの刊行は隔年としたい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 ・石塔などの調査を行うとともに、既に刊行しているハンドブックの広報に努め、その販売を通じて文化財や歴史に興味を持つ市民の増加に努めたい。 ・当面予定しているテーマについて、調査員の確保を含め、調査方法の再検討を行う。  ・文化財保護啓発事業との統合をすることにより、文化財の周知化を図り成果の向上に努める。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 ・調査を予定しているテーマ全体について、緊急性を考慮し、調査期間等も含め、再度計画の見直しを実施する。

事務事業コード	774318	事務事業名	「霧島市を知る」ハンドブック作成事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
  - 一部記述不足のところがある
  - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている  
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
  - 一部に客観性を欠いたところがある
  - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	ハンドブックの周知を徹底することにより、成果の向上余地がある。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成25年度に取り組むべき具体的な内容 ・調査を予定しているテーマ全体について、緊急性を考慮し、調査期間等も含め、再度計画の見直しを実施する。	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容 ハンドブックの周知方法を検討する。
---	--

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	1	伝統文化を学ぶ		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	7	文化財保護費		特になし
	コード	774311			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
地域住民に市内の文化財を広く紹介することで郷土の歴史を正しく理解し、文化財を大切にすることを育むため、「霧島を知る」をテーマとした次のような、文化財保護啓発事業を実施する。 (事業内容) ①文化財に関するパンフレットの再販、販売 ②市報に「郷土史への扉」を掲載 ③文化財保護強調週間の周知化(広報掲載・パンフの掲示など) ④「文化財防火デー」に合わせて、神社等による防火訓練の実施 ⑤縄文シティサミット・九州地区市町村文化財保存整備協議会総会への参加 ⑥調査した文化財の資料整理の実施 など			・文化財防火デー防火訓練の実施 ・文化財ガイドブック「歴史散歩」増刷 ・広報誌に「郷土史への扉」を掲載 ・文化財保護強調週間の周知化			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	広報活動・情報発信の数	件	8	8	8	8
イ	文化財防火訓練の実施	回	3	2	2	2
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	地域住民(市民)	人	127,487	127,365	129,098	129,328
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	文化財に関心をもってもらう。	冊	2,000	550	11,000	2,000
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	%	80.9	75.8	75.0	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	1,979	3,929
	補正予算額	0	
	予算合計	1,979	3,929
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	60	
	一般財源	1,927	
	支出合計	1,987	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
平成17年合併して霧島市となり、新しい町の歴史や文化財を地域住民の方々にもっと知ってもらい、文化財に関心を持ち、大切にすることを育むことを目的として「霧島を知る」事業を開始した。	合併に伴い、霧島市は数多くの文化財を有するまちとなった。これまではそれぞれの市町の文化財や歴史は学んでいたが、新しいまちのことについては知らない状況である。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
市民が合併をきっかけとして、霧島市の歴史や文化に対して関心が高まってきており、学ぼうとする市民も増加の傾向でパンフレットなどの資料請求などの要望が多く寄せられている。	特になし

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	1,067		1,067	1,095		1,095	1,095		1,095
8 報償費									
9 旅費	519		519	202		202	270		270
10 交際費									
11 需用費	315		315	562		562	230		230
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費	315		315	562		562	230		230
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	86		86	2,070		2,070	88		88
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,987		1,987	3,929		3,929	1,683		1,683

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	60		60	79		79	75	
一般財源	1,927		1,927	3,850		3,850	1,608		1,608
計	1,987		1,987	3,929		3,929	1,683		1,683

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	1,979千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算				ハンドブック販売				
	第1回(6月)				第5回				
	第2回(9月)				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計	1,979千円			参加費等の事業実施のための収入説明					

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に紹介することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がけることができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に紹介し、文化財の保護について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象として、文化財を大切にすることを意図しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	文化財愛護思想を高めることで、各種イベントへの参加者が増え、より成果を高めることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、年々文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 「霧島市を知る」ハンドブック作成事業 文化財保護啓発事業との統合により、文化財の周知と成果向上を図る。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在でも市報やホームページを活用して意識啓発を行っており、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	文化財調査の整理(調査カード)や文化財啓発に関する業務は事務補佐員を雇用しており、職員は意識啓発用の原稿作成や最小限の事務業務に留めている。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市報やHPなどを活用したりすることで、一様に情報を市民に提供することができる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財ガイドブック「歴史散歩」の販売が好調なため、新たに増刷を図った。平成23年度は霧島国分夏祭り開催時に市民会館ロビーにおいて、「島津義久」パネル展を実施するなど、文化財の啓発事業を進めた。今後も各種イベント等で文化財啓発の情報発信を続けていきたい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・文化財防火デー防火訓練の実施 ・広報誌に「郷土史への扉」を掲載 ・文化財保護強調週間の周知化 ・縄文シティサミットinきりしまの開催 ・「ぐるり霧島」、「島津義久いろは歌」増刷 ・「霧島市を知る」ハンドブック作成事業との統合をすることにより、文化財の周知化を図り成果の向上に努める。 各種団体が行うイベント等において、パネル展示を行うなどして文化財の保護の周知を図る	・文化財防火デー防火訓練の実施 ・広報誌に「郷土史への扉」を掲載 ・文化財保護強調週間の周知化 ・大隅国建国1300年記念事業開催に伴い、文化財保護について啓発を行う。

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	7	文化財保護費		霧島市補助金等理念条例、霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774319				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)							
昔から受け継がれてきた郷土芸能を絶やさないために、郷土芸能保存団体に対して活動補助をする。また、出演の機会の提供を行う。							
主な業務の内容							
①郷土芸能保存活動事業費補助金(運営補助)							
②イベント等への出演依頼(天孫降臨霧島祭、各地区の文化祭、学校行事等)							
③第2回霧島市郷土芸能祭の開催 → 実行委員会方式で開催							
郷土芸能保存団体の活動							
①郷土芸能の保存継承							
②地域の行事やイベントでの郷土芸能の発表							
補助金・負担金の交付先	郷土芸能保存会		補助金の対象経費	郷土芸能を継承するための運営補助			
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	運営補助している郷土芸能保存会の数(運営補助している団体数)		団体	16	14	15	15
イ	霧島市郷土芸能祭に参加する保存団体の数		団体	7	7	7	7
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	保存団体	霧島市内の郷土芸能保存団体数	団体	43	42	42	42
イ	市民	霧島市の人口	人	127,512	128,868	129,098	129,328
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	郷土芸能が保存・継承される	団体の会員数が増えた団体数	団体	2	2	2	2
イ	伝統文化にふれる機会を持つ	団体の発表の数	回	36	32	34	34
ウ	伝統文化にふれる機会を持つ	霧島市郷土芸能祭を鑑賞した市民の数	人	700	500	800	800
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう。	発表を行っている団体の数	件	38	35	44	
イ							

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等				
	23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？				
予算額	当初予算額	991				郷土に受け継がれてきた伝統芸能を後世に残すため。また、後継者を育成するために始められた。運営補助としては、昭和50年代から実施している。	生活文化の多様化や急速な社会変化により地域の連帯感が薄れ、地域の伝統文化などを継承する社会力が低下している。保存会会員の高齢化が進み、郷土芸能保存会を継承する人が少なくなっている。	
	補正予算額							
	予算合計	991						
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見				
	県支出金					地域による伝統文化の継承活動に要する経費(補助金)についてはこれまでどおり継続してほしいと、市民や保存会からの声が多い。市民やイベント関係者等から民俗芸能を披露してもらいたいとの要望が寄せられている。	特になし	
	地方債							
	その他							
	一般財源	966						
	支出合計	966						



事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		会員数	平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)		
1	下井道化踊り保存会		19人	補助金	36	補助金	36	補助金	36
				自主財源	85	自主財源	85	自主財源	85
	対象地区	全市 国分		合計	121	合計	121	合計	121
				自主財源率	70%	自主財源率	70%	自主財源率	70%
2	清水田の神舞保存会		14人	補助金	45	補助金	45	補助金	45
				自主財源	92	自主財源	92	自主財源	92
	対象地区	全市 国分		合計	137	合計	137	合計	137
				自主財源率	67%	自主財源率	67%	自主財源率	67%
3	敷根琉球人踊り保存会		31人	補助金	30	補助金	30	補助金	30
				自主財源	54	自主財源	54	自主財源	54
	対象地区	全市 国分		合計	84	合計	84	合計	84
				自主財源率	64%	自主財源率	64%	自主財源率	64%
4	重久神舞保存会		18人	補助金	32	補助金	32	補助金	32
				自主財源	104	自主財源	104	自主財源	104
	対象地区	全市 国分		合計	136	合計	136	合計	136
				自主財源率	76%	自主財源率	76%	自主財源率	76%
5	重久太鼓踊り保存会		25人	補助金	52	補助金	52	補助金	52
				自主財源	61	自主財源	61	自主財源	61
	対象地区	全市 国分		合計	113	合計	113	合計	113
				自主財源率	54%	自主財源率	54%	自主財源率	54%
6	竹子棒踊り保存会		45人	補助金		補助金		補助金	
				自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市 国分		合計		合計		合計	
				自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7	府中太鼓踊り保存会		24人	補助金	52	補助金	52	補助金	52
				自主財源	192	自主財源	192	自主財源	192
	対象地区	全市 国分		合計	244	合計	244	合計	244
				自主財源率	79%	自主財源率	79%	自主財源率	79%
8	小脇郷土芸能保存会		11人	補助金	35	補助金	35	補助金	35
				自主財源	40	自主財源	40	自主財源	40
	対象地区	全市 国分		合計	75	合計	75	合計	75
				自主財源率	53%	自主財源率	53%	自主財源率	53%
9	三体棒踊り保存会		18人	補助金	45	補助金	45	補助金	45
				自主財源	80	自主財源	80	自主財源	80
	対象地区	全市 国分		合計	125	合計	125	合計	125
				自主財源率	64%	自主財源率	64%	自主財源率	64%
10	万膳太鼓踊り保存会		29人	補助金	45	補助金	45	補助金	45
				自主財源	16	自主財源	16	自主財源	16
	対象地区	全市 国分		合計	61	合計	61	合計	61
				自主財源率	26%	自主財源率	26%	自主財源率	26%
11	田口棒踊り保存会		34人	補助金	31	補助金	31	補助金	31
				自主財源	31	自主財源	31	自主財源	31
	対象地区	全市 国分		合計	62	合計	62	合計	62
				自主財源率	50%	自主財源率	50%	自主財源率	50%
12	田口田の神舞保存会		12人	補助金	31	補助金	31	補助金	31
				自主財源	33	自主財源	33	自主財源	33
	対象地区	全市 国分		合計	64	合計	64	合計	64
				自主財源率	52%	自主財源率	52%	自主財源率	52%
13	霧島俵踊り保存会		30人	補助金	31	補助金	31	補助金	31
				自主財源	29	自主財源	29	自主財源	29
	対象地区	全市 国分		合計	60	合計	60	合計	60
				自主財源率	48%	自主財源率	48%	自主財源率	48%
14	栢田棒踊り保存会		25人	補助金		補助金	25	補助金	25
				自主財源		自主財源	55	自主財源	55
	対象地区	全市 国分		合計		合計	80	合計	80
				自主財源率		自主財源率	69%	自主財源率	69%

15	川路原刀踊り保存会								15人	補助金	25	補助金	25	補助金	25
										自主財源	25	自主財源	25	自主財源	25
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	50	合計	50	合計	50
								○	自主財源率	50%	自主財源率	50%	自主財源率	50%	
16	新原鎌踊り保存会								32人	補助金	25	補助金	25	補助金	25
										自主財源	26	自主財源	26	自主財源	26
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	51	合計	51	合計	51
								○	自主財源率	51%	自主財源率	51%	自主財源率	51%	
17	霧島市郷土芸能祭実行委員会（委託料）									補助金	451	補助金	631	補助金	631
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	451	合計	631	合計	631
	●								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
18										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
19										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
20										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計								234人	補助金負担金合計	966	補助金負担金合計	1,171	補助金負担金合計	1,171	
									自主財源合計	868	自主財源合計	923	自主財源合計	923	
									自主財源率	47%	自主財源率	44%	自主財源率	44%	

■負担金の状況

単位：千円

	団体名・協議会名	負担金額	平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	991	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	991	第3回		第6回			

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能保存団体支援事業を実施することで、郷土芸能保存会が運営や後継者育成に積極的になることにより、市民に対しても披露する機会が増え、郷土芸能に対する意識の高揚が図られる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、特に伝承者が途絶えると復活が困難である郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	郷土芸能保存会へ支援することにより、円滑な運営と後継者の育成、さらには市民への周知などが充実することから、対象・意図とも妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	高齢化に伴う後継者不足が切実な問題となっているが、会員数が増える団体が出てくれば、本事業の成果は向上すると思われるので、さらに、これまで以上に各保存団体が出演する機会の提供を行ってほしい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このようなことから、本事業を継続する必要がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 隼人町民芸保存会運営支援事業  隼人町民芸保存会運営支援事業との統合ができないか検討する。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	合併以来保存会への運営補助は大幅に削減してきており、これ以上削減することは厳しい状況である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事務事業は郷土芸能保存会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今までの出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ郷土芸能はその地域の風土を色濃く残すものである。これらのことを考慮すると、保存会に対し行政が支援することはやむを得ないことである。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	保存会員の高齢化や後継者不足は今後ますます深刻化を増すと思われる。引き続き保存団体の活性化につながる事業に取り組むとともに、存続が難しいと思われる郷土芸能については記録保存の検討が必要である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 ・郷土芸能を発表する場として、第3回郷土芸能祭を開催する。 ・教育委員会から補助金を交付している団体に呼びかけ、仮称「霧島市郷土芸能保存会連絡協議会」の結成に取り組む。 ・隼人町民芸保存会運営支援事業との統合の可能性について引続き協議を行う。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 ①霧島市郷土芸能祭開催の継続 ②各種イベント等への出演促進 ③補助金交付団体以外の団体の、仮称「霧島市郷土芸能保存会連絡協議会」への加入促進 ④大隅国建国1300年記念事業の一環として大隅地域の郷土芸能団体を招聘し、郷土芸能祭を実施する。

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

<b>① 記述水準</b> (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足で分かりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 十分に記述されている	<b>② 評価の客観性水準</b> (2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている <small>(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</small> <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている
--	--

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <small>(十分に成果が出ている)</small> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <small>(十分に成果が出ている)</small> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	後継者不足解消を支援するとともに、市が主催するイベント等で発表の機会を設けることにより、成果向上の余地がある。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑥の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

<b>① 1次評価結果にもとづく平成25年度に取り組むべき具体的な内容</b> ①霧島市郷土芸能祭開催の継続 ②各種イベント等への出演促進 ③補助金交付団体以外の団体の、仮称「霧島市郷土芸能保存会連絡協議会」への加入促進 ④大隅国建国1300年記念事業の一環として大隅地域の郷土芸能団体を招聘し、郷土芸能祭を実施する。	<b>② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容</b> 後継者の育成を支援するとともに、記録保存の検討を進める。
---	--

事務事業コード	774225	事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	霧島教育振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	教育グループ
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	5840
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774225				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

平成8年に霧島地区に伝わってきた「霧島神楽」を約80年ぶり復活した。この貴重な郷土芸能を後世に伝える為、振興会の運営を支援するため助成するものである。  
<振興会の活動内容>  
・伝統芸能伝承のための定期練習会の開催  
・天孫降臨霧島祭への参加(例年)、公民館講座の指導、きりしまチャレンジャーでの神楽指導、など  
<事務事業>  
・補助金交付に係る諸手続き  
(平成23年度から成果指標変更)

補助金・負担金の交付先	霧島神楽振興会	補助金の対象経費	霧島神楽振興会の運営に要する経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	霧島神楽振興会公演回数	回	24	20	20	20	
イ	講習の延回数	回	28	48	30	30	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	市民	市民	人	127,487	127,365	129,098	129,328
イ	神楽振興会会員	神楽振興会会員数	人	38	43	43	43
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	霧島神楽を知ってもらう	南九州神楽祭り入場者数	人	0	650	700	750
イ	霧島神楽を伝承する	公演及び練習に参加した人数	人	733	1,042	1,000	1,000
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう	郷土芸能に関わる人数(団体登録者)	団体	2,650	2,556	2,450	
イ							

(2)事業費 単位：千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
当初予算額	407	370
補正予算		
予算合計	407	370
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	407	
支出合計	407	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
旧霧島町内の民家で270年前の古文書が発見され、その中に霧島神楽が現存していた記述があった。そこで町民の関心を高めようと波野村の「中江岩戸神楽」と古文書を参考に復活させた。	発足当時は数十名いた会員も高齢化や職場の異動(役場職員もかなり居た)により、少しずつ遠退いてゆき、今では40名ほどで活動している。しかし、近年、新規会員の加入もあり、やや活気付いてきている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
地域住民から霧島神楽を大切に守り伝えていくべきだという意見が寄せられている。	特になし

事務事業 コード	774225	事務 事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	霧島教育振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)		
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	霧島神楽振興会									43人	補助金 407	自主財源 1,239	補助金 370	自主財源 1,200	補助金 370	自主財源 1,200
	対象 地区						○			合計 1,646	合計 1,570	合計 1,570	合計 1,570	合計 1,570	合計 1,570	合計 1,570
2											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
3											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
4											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
5											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
6											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
7											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
8											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
9											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
10											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象 地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
計										43人	補助金負担金合計 407	自主財源合計 1,239	補助金負担金合計 370	自主財源合計 1,200	補助金負担金合計 370	自主財源合計 1,200
											自主財源率 75%	自主財源率 76%	自主財源率 76%	自主財源率 76%	自主財源率 76%	自主財源率 76%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名			平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の支払先					
	負担金額	負担金額	負担金額				全国	九州	県	その他		
1												
2												
3												
4												
5												
合計												

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	407
補正予算	
合計	407

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	774225	事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	霧島教育振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能保存団体支援事業を実施することで、郷土芸能保存会が運営や後継者育成に積極的になることにより、市民に対しても披露する機会が増え、伝統文化を継承し、広めてもらうことにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、特に伝承者が途絶えると復活が困難である郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	郷土芸能保存会へ支援することにより、円滑な運営と後継者の育成、さらには市民への周知などが充実することから、対象・意図とも妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	地域の行事や運動会、文化祭、市主催の行事など、これまで以上に振興会が出演する機会の提供を図ることで、振興会の活性化や後継者育成に結びつけて行くことができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このようなことから、本事業を継続する必要がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 少年少女合唱団運営事業、溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業 文化芸術支援事業として一体化することで、事業の成果向上を図る。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	合併以来保存会への運営補助は大幅に削減してきており、これ以上削減することは厳しい状況である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事務事業は振興会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今まで以上の出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、郷土芸能は国民共有の財産であり、その地域の風土を色濃く残すものである。これらのことを考慮すると、振興会に対し行政が支援することは妥当と考える。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	平成23年度は地域の行事等への出演を積極的に取り組んだ。また、口蹄疫や新燃岳の噴火に伴う風評被害に対して、霧島地域に観光客を誘致する一環として、みやまコンセールで定期的に行われている「郷土芸能の夕べ」に積極的に出演してきている。今後は地域の振興と振興会の活性化を図るため、後継者の育成や新たな座の創設などに取り組むことが必要と考える。	

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・天孫降臨霧島祭への参加 ・各種イベント等(郷土芸能の夕べ)への出演 ・神楽講座の実施 ・少年少女合唱団運営事業、溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業との統合を図り、文化芸術支援事業として一体化することで、事業の成果向上に努める。 ・霧島神楽を周知することで、振興会の活性化が図られる。 ・古くから霧島に残る神楽を鑑賞することにより、霧島市の歴史を再確認するとともに、郷土芸能への関心が高まる。	・これまで出演してきたイベント等以外にも発表の機会を支援する。 ・郷土芸能保存会や神楽保存会(他市)との連携を図っていく。 ・神楽についての文献調査や他地域に残っている神楽の調査研究を行う。 ・調査研究に基づき、霧島神楽でまだ復活していない「座」の掘り起しを行う。

事務事業コード	774313	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	7	文化財保護費		文化財保護法、霧島市文化財保護条例
	コード	774313			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
埋蔵文化財が包蔵されている土地において開発行為により、破壊される埋蔵文化財を事前に発掘調査し、その成果を報告書にまとめ、記録保存として遺跡を後世に残す。  (事務事業内容) ・開発行為に伴う試掘調査、確認調査(市負担) ・民間による開発行為に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査(民間負担) ・公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査(市負担)			公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査を実施した。また、民間による緊急埋蔵文化財発掘調査も実施し、報告書を作成した。			
			平成24年度計画			
			開発行為に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査 民間、公共事業、試掘・確認調査の実施			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	緊急埋蔵文化財発掘調査の数	件	4	5	3	3
イ	発掘調査報告書の数	冊	0	600	300	300
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	周知の埋蔵文化財包蔵地	カ所	524	524	525	526
イ	市民	人	127,487	127,365	129,098	129,328
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	遺跡が記録保存される	件	4	5	3	3
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	文化財を適切に保存し、後世に残す。	件	690	695	710	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	16,864
	補正予算額	-9,306
	予算合計	7,558
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	1,445
	一般財源	939
	支出合計	2,384

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
昭和25年文化財保護法の制定に伴い、埋蔵文化財の保護について取組んできた。霧島市においても平成17年度(合併当初)から緊急な発掘調査に対応するため予算を計上している。	緊急に発掘調査を実施するケースが増えてきており、工事立会い等も増加している。特に、アンテナ設置に伴う調査、立会いが増加している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
民間開発に伴う発掘調査については、民間業者の意見として早急な対応をしてほしい。	特になし



事務事業コード	774313	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費	4		4	16		16	26		26
7 賃金	1,254		1,254	4,885		4,885	8,265		8,265
8 報償費	20		20	30		30	30		30
9 旅費				10		10	10		10
10 交際費									
11 需用費	262		262	650		650	809		809
消耗品費	35		35	180		180	280		280
燃料費	3		3	46		46	78		78
食料費									
印刷製本費	224		224	424		424	451		451
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	44		44	65		65	65		65
通信運搬費	44		44	60		60	60		60
広告料									
手数料				5		5	5		5
保険料									
13 委託料	147		147	5,090		5,090	4,959		4,959
14 使用料及び賃借料	653		653	3,487		3,487	2,700		2,700
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	2,384		2,384	14,233		14,233	16,864		16,864

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	1,445		1,445	9,000		9,000	9,000	
一般財源	939		939	5,233		5,233	7,864		7,864
計	2,384		2,384	14,233		14,233	16,864		16,864

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	16,864千円		
	補正予算	-9,306千円		
	第1回(6月)	第5回		
	第2回(9月)	第6回		
	第3回	第7回(3月)	▲8,570	
	第4回	第8回	▲736	
予算合計	7,558千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
民間開発に伴う埋蔵文化財発掘調査委託費(2件)	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774313	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	開発行為に伴い、遺跡の確認や緊急埋蔵文化財発掘調査を実施し、記録保存することは、文化財を後世に保存することに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種法令により、埋蔵文化財の保存・活用や発掘調査の調査主体は行政であると求められているため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	開発行為により、地下に眠っている貴重な文化財が破壊されることを未然に防いだり、破壊される遺跡や遺構は記録に残して後世に伝えることは、対象及び意図とも妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	本来、埋蔵文化財発掘調査は実施しないで、遺跡等をそのまま後世に残すことが、究極の文化財保護の形である。そこで、できるだけ早期に開発行為を把握し、計画変更をして遺跡を守るため、周知の埋蔵文化財包蔵地と埋蔵文化財保護行政の周知化を図ることが重要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財保護法に則って実施する事業であり、廃止・休止することはできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 埋蔵文化財調査事業 発掘調査に係る一連の業務を統合することで、事業成果の向上に努める。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、発掘調査に必要な最小限の予算を確保しており、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	少ない人数で霧島市全体の発掘調査を実施している厳しい状況であるため、業務の一部を他機関に委託することによって業務時間を削減できる。但し、開発者の経費負担が増となるため検討を要する。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っているか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財保護法に則って実施する事業であり、公平性は保たれている。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	民間開発に伴う調査は、そのほとんどが緊急を要する調査となるため、余裕のある事業計画を立てて頂くよう、事業主や建設業者等へ、文化財包蔵地での文化財保護制度のさらなる周知が必要である。また、本調査まで至る場合は、職員の負担も大きいので、専門業者への委託も検討しなければならない。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 ・包蔵地における開発行為を早期に把握するため、関係者に文化財保護の周知化を図る。 ・開発行為に伴う試掘調査、確認調査 ・民間の開発行為に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査 ・公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査 ・調査の効率化を高めるために、作業従事者の専門性の向上を図るとともに、作業工程等の見直しを行う。 特に専門性の高い作業等については、外部に委託し効率化を図る。 ・埋蔵文化財調査事業との統合することで、埋蔵文化財の調査から整理作業、報告書作成、出土遺物の保管管理、調査成果の周知化までの一連の業務の一体化を図り、事業成果の向上に努める。 ・埋蔵文化財の保存・活用が図られる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 ・民間開発業者等に対し、文化財包蔵地の周知の徹底を図るため、引き続き文化財の保護制度等について広報を行う。

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 11 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	地方自治法、文化財保護法
	コード	774314			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
これまで調査した大隅正八幡宮宮内遺跡(社家館跡等)の報告書を作成し、史跡整備のための基礎資料とする。国指定への意見具申の際に必要な総括報告書を作成する。 また、国庫補助の対象となる個人または零細企業が実施する開発行為に対応するための発掘調査を実施する。 ①大隅正八幡(鹿児島神宮)社家館跡の報告書作成。 ②発掘調査(国庫補助対象分)の実施。			・大隅正八幡宮宮内遺跡 大隅正八幡宮跡報告書作成 最勝寺氏館跡確認調査			
			平成24年度計画			
			・大隅正八幡宮宮内遺跡 報告書作成(沢氏館跡・最勝寺氏館跡・総括報告書)			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	範囲確認調査の数(整理作業含む)	件	2	2	3	2
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	大隅正八幡宮宮内遺跡(社家館跡等)	箇所	2	2	4	2
イ	市内にある周知の埋蔵文化財包蔵地	件	524	524	524	525
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	遺跡の範囲や遺物・遺構の残存状況を把握する。	m <sup>2</sup>	102	20	20	100
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	適切に保存し、後世に残す。	件	690	695	710	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	3,693
	補正予算額	1,021
	予算合計	4,714
決算額	国庫補助金	1,845
	県支出金	369
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,519
	支出合計	3,733

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
大隅国分寺跡の整備を図るための範囲等確認を平成11年から国庫補助を導入し開始した。また、大隅正八幡(鹿児島神宮)関連遺跡群の範囲確認調査も平成12年度から補助事業を導入し実施している。	一時期に比べ、開発行為が増えてきており、確認調査及び工事立会いの件数も増加傾向である。範囲確認調査や緊急発掘調査の実施により多くの遺跡に関する調査結果が得られた。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
大隅正八幡宮宮内遺跡について、国(文化庁)や県の担当者並びに大学教授等の専門家から高い評価を受け、詳細な調査や遺跡保護のため、国指定化を目指すように指摘されている。一方、開発行為者(事業者)からは迅速な対応を求められている。	大隅国分寺跡地を史跡と市民公園を兼ねたものにしてほしい。大隅国分寺跡北側の市道拡張と埋蔵文化財保護との調整について早急に取り組んでほしい。

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費		6	6		4	4		4	4
7 賃金		1,989	1,989		1,205	1,205		1,205	1,205
8 報償費		30	30		70	70		70	70
9 旅費		322	322		428	428		428	428
10 交際費									
11 需用費		497	497		547	547		557	557
消耗品費		88	88		67	67		67	67
燃料費		9	9					10	10
食料費									
印刷製本費		400	400		480	480		480	480
光熱水費									
修繕料									
12 役務費		45	45		50	50		51	51
通信運搬費		44	44		50	50		50	50
広告料									
手数料		1	1					1	1
保険料									
13 委託料		657	657		500	500		487	487
14 使用料及び賃借料		187	187		199	199		199	199
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計		3,733	3,733		3,003	3,003		3,001	3,001

財源内訳	国	1,845	1,845		1,500	1,500		1,500	1,500
	県	369	369		300	300		300	300
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源		1,519	1,519		1,203	1,203		1,201	1,201
計		3,733	3,733		3,003	3,003		3,001	3,001

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成23年度	当初予算	3,693千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳
	補正予算	1,021千円			
	第1回(6月)	第5回			
	第2回(9月)	第6回			
	第3回	第7回			
	第4回	第8回		1,021	
	予算合計	4,714千円			
参加費等の事業実施のための収入説明					

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大隅正八幡宮宮内遺跡は本市を代表する文化財であり、これを保存・整備することにより、市民や霧島を訪れた人が本市の歴史・文化を正しく理解し文化財に対する意識が深まるとともに、文化財を大切にすることを心がけるようになる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は、地方自治法並びに文化財保護法で地方公共団体の責務と規定されており、文化財の保護・整備は市が行わなければならない事務事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	大隅国分寺跡、大隅正八幡宮宮内遺跡は市街地内にあり、都市化が進む中で、遺跡の破壊・消失が懸念されているところがあるので、早急な対応が必要である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	発掘調査によって、遺跡の範囲や遺構が新たに判明するので成果は向上していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	全国的にも貴重な遺跡であり、開発が危惧される場所である。このままの状態でおくと、遺跡の破壊・消失が懸念される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	発掘調査の作業のほとんどが手作業であり、また現地は市街地で住宅等に囲まれた場所が多く、大型機械の導入も難しいので、作業効率も悪く、事業費削減は厳しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	現地測量や石器・土器などの遺物実測を専門業者に委託しており職員の事務量の軽減を図ることができる。但し、委託などに伴う費用は必要となる。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ遺跡はその地域の歴史を色濃く残すものである。文化財の保存と活用は地方自治法並びに文化財保護法で地方公共団体の責務と規定されており、これらのことを考慮すると、行政が実施することが妥当である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大隅国分寺跡の調査については、報告書作成が終了し、調査が一段落した。大隅正八幡宮宮内遺跡については遺構の確認が進んで、ある程度の範囲を特定できた。今後は、平成25年度が大隅国建国1300年を迎えることから、大隅国府跡の解明に努めたいと考えている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・調査報告書の作成(沢氏館跡・最勝寺氏館跡) ・大隅正八幡宮宮内遺跡の総括報告書の作成 ・発掘調査(国庫補助対象分)の実施  ・大隅正八幡宮宮内遺跡(鹿児島神宮周辺)の発掘調査報告書を刊行することで、発掘調査の成果を周知(公開)することができる。 ・総括報告書を作成し、国指定の意見具申の際の資料とする。 ・個人住宅や零細企業などの開発に伴う発掘調査に市内遺跡確認事業を適用することで、調査経費原因者負担の軽減と遺跡の記録保存につながる。	・大隅正八幡宮宮内遺跡の整備保存に向けた発掘調査の実施。 ・大隅国府跡解明のための発掘調査の実施。 ・専門家への委託(調査、実測、報告書作成)の検討。

事務事業コード	774310	事務事業名	文化財整備事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ*
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 62 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	7	文化財保護費		鹿児島県文化財保護条例、霧島市文化財保護条例
コード	774310				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
市内の文化財を後世に残すため、文化財の修復、復元、養生、整備や文化財周辺の環境整備を行う。また、文化財の由来などを記した説明板を設置する事により、見学者に対して文化財を正しく理解してもらう。 (市の活動) ・文化財の修復、整備、養生の実施 ・文化財周辺の環境整備及び案内板の設置 ・県指定文化財「福山のイチョウ」の養生 ・真米甌穴群調査委託			<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の環境整備(清掃委託)</li> <li>・案内看板および標柱の設置</li> <li>・福山のイチョウの養生</li> <li>・真米甌穴群調査委託</li> </ul>				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	整備した文化財の数	件	4	6	3	3	
イ	設置した文化財説明板・標柱の数	カ所	8	4	10	10	
ウ	環境整備を実施する文化財の数	件	46	46	52	52	
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	市内の文化財	市内文化財の数	カ所	690	690	695	700
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	修復、復元、養生を実施する	環境整備を実施した文化財の数	件	4	6	3	3
イ	文化財について解説し、正確な情報を提供する	設置した文化財説明板・標柱の数	部	8	4	10	10
ウ	清掃等周辺整備を行う	環境整備を実施した文化財の数	件	46	46	52	52
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	文化財を適切に保存し、後世に残す	整備する文化財の数(累計)	件	278	284	326	
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	8,225	23年度(決算)	6,113	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 市内にある文化財を後世に残すため、文化財の保護(環境整備も含む)する。また、見学者のために、文化財周辺を含めた環境整備や文化財の正確な情報を提供する目的で説明板を設置した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 風水害等による破損や、老朽化による取替えが毎年発生している。草払い等を実施することにより、ゴミの放置が少なくなった。
	補正予算	0					
	予算合計	8,225	6,113				
決算額	国庫補助金	0	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 一般市民から ・文化財の経緯等が、説明板でわかった。 ・草払いや掃除で、きれいになった。 ・案内標柱を設置して欲しい場所がある。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 天然記念物(巨樹・老木)の調査を実施してほしい。また、その管理について個人負担が大きい場合は霧島市からの助成はできないか検討してほしい。			
	県支出金	492					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	5,567					
支出合計	6,059						

事務事業 コード	774310	事 務 事業名	文化財整備事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	文化振興課

単位:千円		平成23年度 (決算)			平成24年度 (当初予算)			平成25年度 (見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報 酬									
2	給 料									
3	職 員 手 当 等									
4	共 済 費									
7	賃 金									
8	報 償 費									
9	旅 費				283		283			
10	交 際 費									
11	需 用 費	36		36	37		37	37		37
	消 耗 品 費	29		29	18		18	18		18
	燃 料 費									
	食 料 費									
	印 刷 製 本 費									
	光 熱 水 費	7		7	19		19	19		19
	修 繕 料									
12	役 務 費	13		13	18		18	18		18
	通 信 運 搬 費									
	広 告 料									
	手 数 料	11		11	15		15	15		15
	保 険 料	2		2	3		3	3		3
13	委 託 料	5,016	985	6,001	4,663	1,076	5,739	2,476		2,476
14	使用料及び賃借料									
15	工 事 請 負 費									
16	原 材 料 費	9		9	36		36	36		36
17	公有財産購入費									
18	備 品 購 入 費									
19	負担金補助・交付金									
20	扶 助 費									
21	貸 付 金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利息・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積 立 金									
26	寄 附 金									
27	公 課 費									
28	繰 出 金									
計		5,074	985	6,059	5,037	1,076	6,113	2,567		2,567

財源内訳	国									
	県		492	492		538	538			
	地 方 債									
	辺 地 債									
	過 疎 債									
	合 併 特 例 債									
	そ の 他									
一 般 財 源	5,074	493	5,567	5,037	538	5,575	2,567		2,567	
計	5,074	985	6,059	5,037	1,076	6,113	2,567		2,567	

補助率	国									
	県	1/2			1/2					
補助基本額										

平成 23 年度	当 初 予 算	8,225 千円			平成 23 年度 財源内訳の「その他」の内訳					
	補 正 予 算									
	第 1 回				第 5 回					
	第 2 回				第 6 回					
	第 3 回				第 7 回					
	第 4 回				第 8 回					
	予 算 合 計	8,225 千円			参加費等の事業実施のための収入説明					

事務事業コード	774310	事務事業名	文化財整備事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の修復、復元、養生等の整備を図り、文化財説明看板で見学者へ情報提供することは、文化財を適切に保存し、後世へ残すことにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産である。当市の財産を整備し、広く市民へ知らせ、後世へ残していくことは市の重要な責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市全域の文化財を対象としており、適切な範囲である。また、今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財を整備し、市民へ情報発信し、後世に伝える必要があることから意図も適切である。
B	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	毎年度文化財の周辺整備(清掃等)を行い、説明板等を順次整備していけば、本事業の成果は向上していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、見学者への情報提供もされず、市民の文化財愛護思想の低下につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、文化財の保存のために必要不可欠な修復、養生を実施している。今後、文化財活用の方から考えて整備対象を増やしていく必要があるため、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は概ね委託により実施している。事業に関する人件費については、少人数で仕様書作成、委託先選定、契約事務、検査を行っており、節減・節約はできない。
D	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は国民共有の財産であり、受益者は広く市民となるため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	案内看板等に旧市町名が記載されたものがあり、市内全域の調査を実施した。その一部について修正を行ったが、今後できるだけ早い時期に修正を終わらせたい。また、文化財周辺の環境整備については、効率の良い方法を検討する必要がある。地区によっては職員による環境整備(草払い)を実施しており、職員削減の中、非常に厳しい状況であるため業務委託を進める必要がある。	

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・文化財の現状(案内板、標柱等を含む)について調査を行い、文化財の整備計画書を作成し、計画的な整備に取り組む。 ・修復が終了した文化財については公開や広報を行うことで文化財に対する関心度が高まる。 ・県指定文化財である「福山のイチョウ」の養生を実施する。(最終年度) ・福山のイチョウの養生による樹勢の回復が期待できる。 ・山ヶ野金山の調査委託。今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財の調査を実施し、その成果を市民へ情報発信するとともに、山ヶ野ウォーキング大会等で活用できる。 ・環境整備委託業務の充実を図る(職員の業務軽減)。	・引き続き、文化財の計画的な整備を行う。 ・大隅国建国1300年記念事業に関連する文化財の整備及び案内板、標柱等の設置を行う。



事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 6 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	霧島市立埋蔵文化財調査事務所の設置及び管理に関する規則
コード	774315				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
霧島市の埋蔵文化財の発掘調査によって出土した資料などの保存・整理等を行なうため、さらには発掘調査調査の成果を市民等に周知をはかるため埋蔵文化財発掘調査事務所を設置した。  (事務事業の概要) 埋蔵文化財発掘調査事務所の管理運営 出土した遺物等の整理、保管 本市の埋蔵文化財に関する情報発信			調査事務所の管理運営 遺物等の整理・展示(郷土館等へ)				
			平成24年度計画				
			調査事務所の管理運営 遺物等の整理・展示(郷土館等へ) 縄文時代の遺物の公開				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	発掘調査・整理作業をした遺跡の数	件	4	10	5	5	
イ	発掘調査によって収納した遺物の数(パンケース)	箱	20	23	25	25	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	遺跡の数	市内にある遺跡の数	件	523	523	523	523
イ	遺物の数	整理・保管してある遺物の数(パンケース)	箱	2,020	2,043	2,068	2,093
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	出土遺物の整理・保管	整理作業・保管した遺物の数	点	850	980	1,200	1,200
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	適切に保存し、後世に残す。	保存されている文化財の数	件	690	695	710	
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	2,261	1,575
	補正予算額	0	
	予算合計	2,261	1,575
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,689	
支出合計	1,689		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
合併前にそれぞれの地区において開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。その遺跡の整理作業を行い、報告書を作成するとともに、資料を保管・管理する調査事務所が必要となった。	開発行為に伴う発掘や工事立会いが増えている。埋蔵文化財担当職員の他部署への異動や仕事量の増加によって、発掘調査を単年度で完了できなくなってきた。また、出土遺物は年々増してきており、その管理と保管場所が課題となってきた。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
発掘調査の迅速な対応をして欲しいとの要望がある。また、出土した貴重な資料や報告書を調査研究のために公開してほしいとの要望がある。	特になし

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	954		954	954		954	954		954
8 報償費									
9 旅費				4		4	4		4
10 交際費									
11 需用費	388		388	527		527	529		529
消耗品費	34		34	50		50	50		50
燃料費	32		32	40		40	40		40
食料費									
印刷製本費	20		20	18		18	20		20
光熱水費	252		252	319		319	319		319
修繕料	50		50	100		100	100		100
12 役務費	46		46	48		48	49		49
通信運搬費	32		32	34		34	35		35
広告料									
手数料									
保険料	14		14	14		14	14		14
13 委託料	42		42	42		42	42		42
14 使用料及び賃借料	8		8						
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費	251		251						
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,689		1,689	1,575		1,575	1,578		1,578

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,689		1,689	1,575		1,575	1,578		1,578
計	1,689		1,689	1,575		1,575	1,578		1,578

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	2,261千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算								
	第1回(6月)				第5回				
	第2回(9月)				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計	2,261千円			参加費等の事業実施のための収入説明					

事務事業 コード	774315	事務 事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	埋蔵文化財の調査結果をまとめたり、出土した遺物等を保管管理することは、破壊された遺跡を記録保存として後世に残ることとなり、文化財の適切な保存に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財保護業務に関しては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められているので、市が実施すべき事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	埋蔵文化財を対象として、出土した遺物等の整理・調査・保管管理すること意図としており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現在は遺物を調査・整理・保管管理することを主眼において実施しているが、今後は保管されている遺物等を市民に周知することを含め、成果の向上余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財は国民の宝として後世に遺していかなければならないので、本事業の廃止・中止は非常に影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 緊急埋蔵文化財発掘調査事業  発掘調査に係る一連の業務を統合することで、事業成果の向上に努める。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	これまで、2ヶ所にあった調査事務所を運営面では1ヶ所に統合し、事業費の削減を図った。(保管は遺物の量が多いため、これまでどおり2ヶ所とした。)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、調査事務所には事務補佐員を配置しており、職員の業務は施設の維持管理及び資料整理の一部を担っており、業務時間の削減を図っている。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は市民全体の役目であることから、本事業実施内容は公平・公正である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	民間開発に伴う調査や工事立会などで出土した遺物が増加傾向にある。効率の良い整理作業と報告書作成について検討する必要がある。 隼人埋蔵文化財調査事務所は老朽化が進み、平成23年度から使用を控えており、出土遺物の収蔵室として使用している。今後、老朽化により使用不可能な状況となってくると思われるので、新たな収蔵施設(バンケースで約1000箱)は必要となってくる。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>調査事務所の管理運営</li> <li>縄文時代の遺物の整理・調査研究</li> <li>遺物等の展示(郷土館等へ)</li> </ul> <p>・緊急埋蔵文化財発掘調査事業との統合を図り、事業の成果向上に努める。</p> <p>・これまでは遺物を調査・整理・保管管理することを主眼において実施しているが、本年度は縄文シティサミットinきりしまが本市で開催されることを鑑み、縄文時代の遺跡や遺物にスポットをあて、保管されている遺物等を市民に周知することで、霧島市の歴史への理解や文化財保護の気運を高めることが期待される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査事務所の管理運営</li> <li>大隅国に関連する遺跡や遺物の整理・調査研究</li> <li>調査研究の成果を展示(郷土館等へ)</li> <li>隼人事務所に収蔵している出土遺物の保管場所の検討。</li> </ul> <p>・大隅国建国1300周年記念事業に向けた関連資料の製作、展示</p>

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
  - 一部記述不足のところがある
  - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている  
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
  - 一部に客観性を欠いたところがある
  - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	保管されている遺物等を市民に積極的に公開することにより、成果の向上余地がある。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成25年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査事務所の管理運営</li> <li>・大隅国に関連する遺跡や遺物の整理・調査研究</li> <li>・調査研究の成果を展示(郷土館等へ)</li> <li>・隼人事務所に収蔵している出土遺物の保管場所の検討。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大隅国建国1300周年記念事業に向けた関連資料の製作、展示</li> </ul>	特になし

事務事業コード	774373	事務事業名	「大隅国」建国1300年記念事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度( H22 ~ H26 )
	目	7	文化財保護費		文化財保護法・遺失物法
	コード	774373			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
和銅6(713)年に建国された大隅国は、平成25(2013)年に建国1300年を迎える。そこで、これを機に次の三つのことを行う。 ①まだ、未解明の、当時の行政の中心地であった大隅国府の場所を特定するための基礎資料を得る。 1)発掘調査の実施 ②大隅国に係る諸遺跡・文献等を調査し、平成25年にイベントを実施する。そのための準備委員会を平成23年度から立ち上げる。 ③広く市民にも周知広報を行い、郷土への愛着・関心をもってもらう。			(1)準備委員会を2回開催 (2)国府推定地の国分府中地区を発掘調査				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	委員会の数	件	0	2	3	5	
イ	発掘調査数(報告書作成含む)	件	3	3	1	2	
ウ	記念事業の数	件	3	3	8	14	
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	建国1300年記念事業	事業の数	件	6	6	9	16
イ	市民	人口	人	127,487	127,365	129,098	129,328
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	郷土の歴史・文化について学び、文化財愛護思想の普及を図る	事業に参加した人	人	886	192	550	4,510
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	10,239	10,499	10,000	
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	23年度(決算)	1,355	24年度(予算)	1,933	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 大隅国が建国されてから平成25(2013)年に、1300年を迎えることから、この機に郷土へ愛着をもてるように、また、文化財への関心を呼び起こすことを目的に様々な事業を展開する。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 平成22年度から実施してきたが、徐々に浸透してきた。霧島市の歴史や文化に対して関心が高まってきており、学ぼうとする市民も増加傾向にある。
	補正予算	0					
	予算合計	1,355	1,933				
決算額	国庫補助金	0			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 市民から、「100年に1回なので、インパクトは大きい。活用すべきである。」との意見が寄せられている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 地域住民や関連市町との連携を図った取り組みをしてもらいたい。一過性の事業ではなく、市民が歴史に興味を抱くような事業にしてもらいたい。また、女性をターゲットにした事業を実施していただきたい。	
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	675					
支出合計		675					

事務事業コード	774373	事務事業名	「大隅国」建国1300年記念事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費	1		1	3		3			
7 賃金	288		288	776		776	776		776
8 報償費	58		58	96		96	96		96
9 旅費	2		2	2		2	100		100
10 交際費									
11 需用費	95		95	264		264	1,324		1,324
消耗品費	63		63	120		120	120		120
燃料費	12		12	4		4	4		4
食料費									
印刷製本費	20		20	140		140	1,200		1,200
光熱水費									
修繕料									
12 役員費							50		50
通信運搬費							50		50
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	110		110	525		525	20,000		20,000
14 使用料及び賃借料	121		121	267		267	267		267
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	675		675	1,933		1,933	22,613		22,613

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他							1,200	1,200
一般財源	675		675	1,933		1,933	21,413	21,413	
計	675		675	1,933		1,933	22,613	22,613	

補助率	国							
	県							
補助基本額								

平成23年度	当初予算	1,355千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳			
	補正予算							
	第1回			第5回				
	第2回			第6回				
	第3回			第7回				
	第4回			第8回				
予算合計	1,355千円			参加費等の事業実施のための収入説明				

事務事業コード	774373	事務事業名	「大隅国」建国1300年記念事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大隅国建国1300年記念事業を通して、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることをすることができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の歴史や文化を市民に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	大隅国建国1300年記念事業を通して、文化財保護の啓発と愛護思想の高揚を進めていくためには、文化財に対する市民の意識を高めることが必要である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市内の文化財の所在や歴史・文化について知らない市民が多い。よって本事務事業の成果を向上させる余地は十分にあると考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民の歴史への関心を呼び起こす機会が少なくなり、郷土の歴史・文化についての理解力や文化財に対する愛護心が希薄になっていく。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	関連事業の開催については、行政のみ実施するのではなく、例えば上野原縄文の森や県立埋蔵文化財センター・歴史資料センター黎明館、観光協会などと連携した事業を展開することで、コストの削減を図る。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	上記に記したように、他の団体との連携やボランティアを起用することで、人件費のコスト削減については可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の主旨は霧島市全体の利益に適うものであり、大隅国に関係する文化財であり、また、参加呼びかけも市民全体を対象としている。事業の実施については、市報やチラシで行っており、市民に広く呼びかけているので、公平性が保たれている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ボランティアの確保、学校・市民団体の記念事業参加への呼びかけなど、今後、広く市民を巻き込んだ取り組みが必要である。また、本市のみの実施ではなく、大隅国となっていた市町村にも広く呼びかけ、連携を図っていくことが重要である。

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取り組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
(1) 準備委員会を3回開催 (2) 連続講演等事業の推進 (3) 国府推定地の国分府中地区を発掘調査  実施する具体的な事業を絞り込み、その準備を行う。連続講演など、一部は年度内に開催する。また、早いうちにポスター・チラシなどを作成し、周知に努める。	事業内容が多岐にわたるため、一部は実行委員会方式で行う。 (1) 記念シンポジウムの開催 (2) 黎明館との合同企画展の開催 (3) 史跡めぐりの開催 (4) 連続講演会の開催 (5) リーフレットの作成 (6) 発掘調査の実施 (7) イベント列車 (8) 各事業との連携

事務事業コード	774373	事務事業名	「大隅国」建国1300年記念事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
  - 一部記述不足のところがある
  - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている  
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
  - 一部に客観性を欠いたところがある
  - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	記念事業の周知を図り、参加を呼びかけることにより、成果向上の余地がある。
C 効率性	黎明館等と連携することにより、事業費の削減余地がある。
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成25年度に取り組むべき具体的な内容 事業内容が多岐にわたるため、一部は実行委員会方式で行う。 (1) 記念シンポジウムの開催 (2) 黎明館との合同企画展の開催 (3) 史跡めぐりの開催 (4) 連続講演会の開催 (5) リーフレットの作成 (6) 発掘調査の実施 (7) イベント列車 (8) 各事業との連携	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取り組み内容 特になし
---	----------------------------------



事務事業コード	774111	事務事業名	横川郷土館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	横川教育振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	教育グループ
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	72-1596
基本事業名	4	文化財の活用		内線番号	6382
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 63 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	款	10	教育費		
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例
	目	5	郷土館費		
コード	774111				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
横川地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収蔵及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷に対し造詣を深める。  (事務内容) ・横川郷土館の管理・運営 ・巡回展の実施			展示品の入れ替え				
			平成24年度計画				
			展示品の入れ替え 「霧島市の石仏」巡回展 大隅国建国1300年記念関連巡回展 縄文関連巡回展				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	開館日数	日	299	300	299	299	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,487	127,365	129,098	129,328
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	郷土館に訪れた人の数	入館者数	人	201	285	300	300
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	10,239	10,499	10,000	
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	1,240	4,493
	補正予算額	0	
	予算合計	1,240	4,493
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	4	
	一般財源	1,198	
	支出合計	1,202	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
昭和63年、横川の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、横川郷土館を建設した。	入館者数が平成18年度178人、平成23年度201人。5年前と比較して約60%増加している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
展示品や史跡の説明ができる人の配置が必要。	特になし

事務事業コード	774111	事務事業名	横川郷土館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	横川教育振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	756		756	3,847		3,847	847		847
消耗品費	16		16	16		16	16		16
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費	740		740	831		831	831		831
修繕料				3,000		3,000			
12 役員費	15		15	15		15	15		15
通信運搬費									
広告料									
手数料	6		6	6		6	6		6
保険料	9		9	9		9	9		9
13 委託料	431		431	631		631	431		431
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,202		1,202	4,493		4,493	1,293		1,293

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	4		4	7		7	5	
一般財源	1,198		1,198	4,486		4,486	1,288		1,288
計	1,202		1,202	4,493		4,493	1,293		1,293

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成23年度	当初予算	1,240千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
	補正予算				入館料	
	第1回(6月)		第5回		参加費等の事業実施のための収入説明	
	第2回(9月)		第6回			
	第3回		第7回			
	第4回		第8回			
	予算合計	1,240千円				

事務事業コード	774111	事務事業名	横川郷土館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	横川教育振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。 また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が担当する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象としており、対象・意図ともに適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	人々の興味をひく企画展やイベント、常設展示品の入れ替え等を行うこと、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収集されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) <small>国分郷土館管理運営事業・霧島歴史民俗資料館管理運営事業・集人歴史民俗資料館・集人歴史民俗館管理運営事業</small> 郷土館等の事務事業を統合することで、施設の連携を図り成果の向上に努める。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、館を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	同じ建物内の2階にある横川図書室の図書司書補助員に管理を兼ねてもらっている。これ以上の削減は不可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、常設展示物の入れ替えなどを実施した。 今後は、市内各郷土館収蔵物の巡回展をして、一か所ですべての郷土館等の収蔵物を見られるようにするなどして、入館者の増加につながる方策を検討する。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・展示物の入れ替え ・「霧島市の石仏」巡回写真展 ・大隅国建国1300年記念関連巡回展 ・縄文関連巡回展  ・郷土館等の事務事業の統合し、各施設の連携を図ることによって成果の向上に努める。  入館者を増やす工夫を行い、郷土の歴史・文化を学ぶ場所を提供することによって、文化財への造詣が深まるとともに、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。	・回覧板や広報を利用して郷土館のPR ・大隅国建国1300年記念事業関連巡回展 ・郷土館等巡回展

事務事業コード	774110	事務事業名	国分郷土館管理運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	45-5111
				内線番号	5202
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 54 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	5	郷土館費	根拠法令・条例等	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例
	コード	774110			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
国分地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収蔵及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷への造詣を深める。 また、それぞれの郷土館が持つ資料などを活用して、特別展・企画展・郷土館収蔵品展等を実施する。併せて、市内の5つの郷土館等施設や文化財等のネットワークを図り、市内の特色ある歴史・文化に触れ、郷土への造詣を深めることを目的とし、郷土館等施設の入館者の増加に努める。  (事務内容) ・国分郷土館の管理・運営 ・企画展、巡回展の実施			企画展「鉄道展」～機関車から「さくら」まで～ 国分郷土館体験学習「ミニ門松づくり」 島津義久没後400周年記念事業関連展 第8回美術展巡回展示  平成24年度計画 国分郷土館体験学習「ミニ門松づくり」 「霧島市の石仏」巡回写真展 大隅国建国1300年記念関連巡回展 縄文関連巡回展				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	開館日数	日	313	308	308	308	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,487	127,365	129,098	129,328
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	郷土館に訪れた人の数	入館者数	人	1,106	1,380	1,500	1,500
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	10,239	10,499	10,000	
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	23年度 (決算)	24年度 (予算)	
予算額	当初予算額	4,914	4,382
	補正予算額	22	
	予算合計	4,936	4,382
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	94	
	一般財源	4,820	
支出合計	4,914		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
昭和54年、国分の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、国分郷土館を建設した。	郷土館の主催事業として、企画展、郷土館収蔵品展、体験学習などを積極的に実施しているが、入館者数は1000人～1400人と低迷している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
①国分郷土館は城山公園(山頂部)の一角にあり、気軽に行ける場所ではない。 ②霧島市には同類の施設が5館あり、今後統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。(平成20年3月に方針決定)	特になし

事務事業コード	774110	事務事業名	国分郷土館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	1,613		1,613	1,592		1,592	1,592		1,592
8 報償費				5		5	5		5
9 旅費	5		5						
10 交際費									
11 需用費	1,516		1,516	1,357		1,357	1,357		1,357
消耗品費	150		150	142		142	142		142
燃料費									
食料費									
印刷製本費	50		50	47		47	47		47
光熱水費	816		816	868		868	868		868
修繕料	500		500	300		300	300		300
12 役員費	85		85	83		83	83		83
通信運搬費	69		69	68		68	68		68
広告料									
手数料	8		8	8		8	8		8
保険料	8		8	7		7	7		7
13 委託料	1,695		1,695	1,345		1,345	1,695		1,695
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	4,914		4,914	4,382		4,382	4,732		4,732

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	94		94	97		97	97	
一般財源	4,820		4,820	4,285		4,285	4,635		4,635
計	4,914		4,914	4,382		4,382	4,732		4,732

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	4,914千円		
	補正予算	22千円		
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	22
予算合計	4,936千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
入館料	国分郷土館体験学習参加料
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774110	事務事業名	国分郷土館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。 また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が担当する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象としており、対象・意図ともに適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	人々の興味をひく企画展やイベント、常設展示品の入れ替え等を行うこと、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収蔵されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 横川郷土館管理運営事業・霧島歴史民俗資料館管理運営事業・集人歴史民俗資料館・集人歴史民俗館管理運営事業 郷土館等の事務事業を統合することで、施設の連携を図り成果の向上に努める。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、館を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は館の管理に関する事務を主に手がけており、郷土館の運営は非常勤職員と人材派遣委託(シルバー)で実施している。これ以上の削減は不可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、企画展や体験学習、常設展示物の入れ替えなどを実施した。5月のゴールデンウィークを中心に開催した企画展「鉄道展」～機関車から「さくら」まで、では子どもを含む多くの来館者を得た。また、昔の道具の展示や旧国分市の今昔の写真の展示には好印象が残ったという感想が寄せられている。今後も入館者の増加につながる展示方法を検討する。	

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・国分郷土館体験学習「ミニ門松づくり」 ・「霧島市の石仏」巡回写真展 ・大隅国建国1300年記念関連巡回展 ・縄文関連巡回展  郷土館等の事務事業の統合を図り、各施設の連携を図ることによって成果の向上に努める。  郷土の歴史・文化を学ぶ場所を提供することによって、文化財への造詣が深まるとともに、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。	・大隅国建国1300年記念事業関連展示会 ・企画展の実施 ・国分郷土館体験学習「ミニ門松づくり」 ・郷土館等巡回展

事務事業コード	774110	事務事業名	国分郷土館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
- 一部記述不足のところがある
- 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている  
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
- 一部に客観性を欠いたところがある
- 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	企画展や展示品の入れ替え等を行い、入館者の増加を図ることで、成果向上の余地がある。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成25年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大隅国建国1300年記念事業関連展示会</li> <li>・企画展の実施</li> <li>・国分郷土館体験学習「ミニ門松づくり」</li> <li>・郷土館等巡回展</li> </ul>	特になし

事務事業コード	774320	事務事業名	山ヶ野ウォーキング大会開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	横川教育振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	45-5111
				内線番号	6382
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 14 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774320				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
山ヶ野金山史跡めぐりとしてウォーキング大会を実施することにより、金山史跡とふるさとの香りを味わいながらウォーキングを楽しんでいただくとともに、地域の活性化を図る。また、中学生による案内を実施することにより、生徒が地域の歴史を学ぶとて、郷土に誇りを持つとともに、参加者も案内に真剣に耳を傾けることで、より地域や歴史を正しく理解することができる。 (事業内容) ①山ヶ野金山のウォーキング ②中学生による案内(説明) ③地元地区民による湯茶の接待 ④郷土芸能の披露 ⑤山ヶ野地区内の整備清掃活動 (業務内容) ①補助金交付に係る諸手続き								
補助金・負担金の交付先		山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会		補助金の対象経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)								
		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)		
ア	地元ボランティア・実行委員会員数	人	241	280	280	280		
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市民	霧島市民	人	127,487	127,365	129,098	129,328	
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	山ヶ野金山について歴史・文化を正しく理解していただく。	ウォーキング参加者	人	299	408	400	400	
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	10,239	10,499	10,000		
イ								

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	
予算額	当初予算額	500	500	山ヶ野金山を活かした地域おこしの一環として14年度から山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会を組織して実施している。	
	補正予算				
	予算合計	500	500		
				② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
決算額	国庫補助金			①参加者の申込が年々多くなってきている。 ②地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	500			
	支出合計	500			
				③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	
				④ この事務事業に対する議会から出された意見	
				ウォーキング大会参加者から、地域の方々のもてなしや中学生による案内説明によるこぼれ、山ヶ野金山のかつて栄えた歴史や規模を確認することができ、歴史的遺産や文化財の大切さを知ったという意見が多数ある。	
				特になし	



事務事業 コード	774320	事務 事業名	山ヶ野ウォーキング大会開催事業	担当部	教育部
				担当課	横川教育振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名								平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金
1	山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会 8人								補助金	500	補助金	500	補助金	500
									自主財源	933	自主財源	800	自主財源	800
								合計	1,433	合計	1,300	合計	1,300	
								自主財源率	65%	自主財源率	62%	自主財源率	62%	
2									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
								合計		合計		合計		
								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
								合計		合計		合計		
								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
								合計		合計		合計		
								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
								合計		合計		合計		
								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
								合計		合計		合計		
								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
								合計		合計		合計		
								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
								合計		合計		合計		
								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
								合計		合計		合計		
								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
								合計		合計		合計		
								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計								8人	補助金負担金合計	500	補助金負担金合計	500	補助金負担金合計	500
									自主財源合計	933	自主財源合計	800	自主財源合計	800
									自主財源率	65%	自主財源率	62%	自主財源率	62%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	500
補正予算	
合計	500

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	774320	事務事業名	山ケ野ウォーキング大会開催事業	担当部	教育部
				担当課	横川教育振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	山ケ野金山ウォーキングに参加することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にす愛護思想を育むことができ、地域の活性化にも繋がるので政策体系に結びつくことができる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財(山ケ野金山)を市民や市外の方々に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めたり、地域の活性化を図ることは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	山ケ野金山ウォーキングにより、参加者が文化財に対する意識を高めることが重要である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	山ケ野金山ウォーキングにより、参加者数、案内説明場所、コース設定、山ケ野地区住民の協力、中学生による案内説明など、より効果を上げるため実行委員会で検討している。今後は参加者の募集だけでなく、ボランティアの公募を検討するなど、新たな視点で進める必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	山ケ野金山を活用して文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。また、地域の活性化が後退する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地域住民(中学生～高齢者)の全面的協力及びボランティアによる運営を実施している。総事業費の半額を参加費が占めており、歳出についても極力削減に努めている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は補助金交付に係る諸手続きを実施している。実行委員会については、臨時職員を実行委員会で雇用しており、当日は約280名のスタッフもボランティアであり、人件費の削減は十分に実施している。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の案内については、市報・チラシなどで広報を実施している。参加資格、申込方法など多くの方が公平に参加できるよう配慮している。また、参加者は参加費を出していることから、公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 地域の方々がボランティアとして、ウォーキング大会の運営に携わっておられ、地域の活性化と文化財の活用がうまくマッチした事業と考える。例年中学生がガイド役を務めており、参加者からは好評を得ている。また、地元の小中学生を招待するなどして、後継者育成も図られている。

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・広報による周知の徹底を図る。 ・中学生による案内(学習、資料作成、発表)の充実 ・地域住民による接待。 ・ボランティアの募集。  地域の児童生徒が山ケ野ウォーキングに参画することで、地域の郷土を知るとともに、地域住民(高齢者)との交流が図られる。	・バスで送迎や地域住民による湯茶接待に限界があるため、参加者の人数に制限があるが、送迎の工夫やボランティアの公募などをすることにより、参加者の増員を図る。

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	45-5111
				内線番号	5202
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	774321			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
霧島市は古くは縄文時代から始まり、クマソ・ハヤトや天孫降臨などの伝説、古代からは大隅国の中心地として、さらには近世に至るまで産業・経済の中心地として栄えてきた。市内には数多くの文化財が点在している。そこで、地域住民が霧島市内の文化財を見学することで、文化財や郷土の歴史への認識を深め、愛郷心を高揚するとともに、文化財を大切にすることを促す。(業務内容) ①市報・チラシなどによる広報・募集 ②市内全域を対象にした年6回の史跡めぐり(徒歩・バス) ③見学資料の配布・参加料の徴収(徒歩:300円, バス:700円) ※第2回は大隅国建国1300周年周知のため、無料とした			市内史跡めぐり(6回) ※1回は雨天のため中止			
			平成24年度計画			
			市内史跡めぐり(6回) 縄文シティサミットinきりしま開催関連 大隅国建国1300年関連			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	史跡めぐりの実施回数	回	8	6	6	6
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	市民	人口	127,487	127,365	129,098	129,328
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	郷土の歴史・文化を知ってもらおう	人	237	102	250	260
イ	"	人	33	35	40	40
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する	人	10,239	10,499	10,000	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	144	230
	補正予算額	0	
	予算合計	144	230
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	50	
	一般財源	54	
支出合計	104		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
平成18年度から霧島市の歴史や文化財を広く知っていただくことを目的として開始した。	平成17年に霧島市が誕生して以来、市民の多くの方が郷土(霧島市)の歴史や文化財について、関心を寄せている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
市民から、史跡めぐりについて、もっと積極的に広報してほしい。 史跡めぐりの参加者から、今後も続けてほしいという要望が寄せられている。	特になし

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	5		5	10		10	10		10
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	13		13	20		20	20		20
消耗品費	13		13	20		20	20		20
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料	86		86	200		200	200		200
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	104		104	230		230	230		230

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	50		50	88		88	88	
一般財源	54		54	142		142	142		142
計	104		104	230		230	230		230

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成23年度	当初予算	144千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
	補正予算				参加料、資料代	
	第1回(6月)		第5回		参加費等の事業実施のための収入説明	
	第2回(9月)		第6回			
	第3回		第7回			
	第4回		第8回			
	予算合計	144千円				

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内の文化財を巡ることで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がけることができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内の文化財を市民に周知を図り、文化財の保存・伝承について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象として、郷土の歴史や文化を正しく理解することを意図しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	史跡めぐり参加者を増やしていくことや内容の充実を図ることで、郷土の歴史、文化を正しく認識している人が増え成果が向上する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えていくことが懸念される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は、外部講師の謝金、バスの借上げなど、必要最小限の予算で実施している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業の業務内容は、参加者の募集、資料作成、当日の史跡めぐりなどであり、外部に委託する業務はない。(講師は外部から招聘することがある。)
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の広報も市報やチラシ、ホームページで行っており、市民に広く呼びかけている。 バスによる史跡めぐりは募集人数に制限があるため、定数を超えた場合は抽選を行なっているため公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		参加者が固定化する傾向にあるので、史跡めぐりの内容の充実や広報活動の工夫の検討が必要である。参加者からは、個人では気が付かないことをわかりやすく解説してもらえて、郷土の歴史を改めて見直すことができたという声が寄せられている。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・史跡めぐりの実施 ・資料代300円、バス代700円を参加者に負担 ・大隅国建国1300年記念事業との連携 ・縄文シティサミットinきりしま開催に関連した史跡めぐり ・各種行事で幅広くチラシ配布したり、学校への呼びかけ、ホームページによる広報を行い、新たな参加者の掘り起しを行う。	・史跡めぐりコースが固定化しないように新たなコースの掘り起こしを図る ・市民の関心のあるテーマ・コースを適切に取り入れる ・大隅国建国1300年記念事業との連携による史跡めぐりの実施 大隅国府と大隅国分寺跡 大隅正八幡宮関連史跡 大隅国府と周辺史跡(大穴持神社、稲荷神社、台明寺跡) 式内社めぐり(霧島神宮、鹿児島神宮、大穴持神社、韓国宇豆峯神社、宮浦宮) 日本最南端「歌枕めぐりの旅」 古事記・日本書紀の世界

事務事業コード	774114	事務事業名	隼人塚史跡館管理運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	42-1119
				内線番号	5202
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 13 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	5	郷土館費	根拠法令・条例等	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例
コード	774114				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
国指定史跡隼人塚を見学する人に、隼人塚やハヤトについての紹介や説明を行う。 隼人塚、ハヤトに関係のある資料を集めて保存・調査したり紹介するために、史跡館の施設を管理運営する。  (事業内容) ・隼人塚史跡館の管理・運営 ・企画展、巡回展の実施 ・文化財少年団の育成			文化財少年団活動「とうろうの夕べ」				
			平成24年度計画				
			文化財少年団活動「とうろうの夕べ」 「霧島市の石仏」巡回写真展 大隅国建国1300年記念関連巡回展 縄文関連巡回展				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	開館日数	日	307	307	308	308	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,487	127,365	129,098	129,328
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	郷土館に訪れた人の数	入館者数	人	2,749	2,276	2,300	2,300
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	10,239	10,499	10,000	
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	3,418	3,535
	補正予算額	27	
	予算合計	3,445	3,535
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	256	
	支出合計	3,421	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
国指定史跡隼人塚の発掘調査・修復整備事業の一環として、平成13年度開館。	開館当初よりは入館者は減少傾向にある。県外からの利用も多い。平成18年の入館者が2842人、平成23年度は2276人で5年間で約20%減っている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
利用者から、隼人塚の歴史やハヤトについて、詳細で分かり易い展示がなされており、よく理解できた。	・隼人塚史跡館の展示等の拡充を図り、市民や観光客のニーズに応じてほしい

事務事業コード	774114	事務事業名	隼人塚史跡館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	1,601		1,601	1,601		1,601	1,601		1,601
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	618		618	724		724	724		724
消耗品費	104		104	100		100	100		100
燃料費									
食料費									
印刷製本費	4		4	93		93	93		93
光熱水費	510		510	531		531	531		531
修繕料									
12 役員費	66		66	66		66	66		66
通信運搬費	59		59	58		58	58		58
広告料									
手数料									
保険料	7		7	8		8	8		8
13 委託料	1,126		1,126	1,144		1,144	1,144		1,144
14 使用料及び賃借料	10		10						
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	3,421		3,421	3,535		3,535	3,535		3,535

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	256		256	227		227	227	
一般財源	3,165		3,165	3,308		3,308	3,308		3,308
計	3,421		3,421	3,535		3,535	3,535		3,535

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成23年度	当初予算	3,418千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳
	補正予算	27千円			
	第1回(6月)		第5回		
	第2回(9月)		第6回		
	第3回		第7回		
	第4回		第8回	27	
予算合計	3,445千円			入館料	
				参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774114	事務事業名	隼人塚史跡館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	隼人塚やハヤトの歴史について学ぶ場所を提供することによって、関心や理解を深めてもらい、郷土の歴史を正しく理解することに結びつく。また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	隼人塚は国指定史跡であり、隼人塚史跡館はそのガイダンス施設としての役割を担っているため必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	隼人塚やハヤトの歴史について学びたい人は、誰でも隼人塚史跡館を利用できるので適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	企画展や特別展を企画運営することにより、入館者数を増やす。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	平成13年度に開館しており、現段階では補助金等適性化法に抵触する。郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収蔵されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 国分郷土館管理運営事業・横川郷土館管理運営事業・霧島歴史民俗資料館・隼人歴史民俗資料館 郷土館等の事務事業を統合することで、施設の連携を図り成果の向上に努める。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、館を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は館の管理に関する事務を主に手がけており、郷土館の運営は非常勤職員と人材派遣委託(シルバー)で実施している。これ以上の削減は不可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。また、霧島市内の他の郷土館等施設と入館料を統一しており、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	隼人塚史跡館としての特色を活かした、常設展示を行った。また、隼人塚は鹿児島県神宮が行なう年中行事「浜下り」の中継所ともなっており、文化財少年団もその行事に参加した。また、総合学習や校外学習で市内の児童生徒が訪れ、郷土の歴史を知ってもらう機会となった。文化財少年団については、参加者数が減少傾向にあるので、事業内容の見直しも必要だと考えている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・文化財少年団「とうろうの夕べ」 ・「霧島市の石仏」巡回写真展 ・大隅国建国1300年関連巡回写真展 ・縄文関連巡回写真展  郷土館等の事務事業の統合し、各施設の連携を図ることで成果の向上に努める。  郷土の歴史・文化を学ぶ場所を提供することによって、文化財への造詣が深まるとともに、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。	・文化財少年団「とうろうの夕べ」 ・文化財少年団の育成 ・大隅国建国1300年記念事業関連事業巡回展 ・郷土館等巡回展 ・大隅国建国1300年関連事業に伴う隼人の抵抗に関するパネル展の開催



事務事業コード	774113	事務事業名	隼人歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	45-5111
				内線番号	5202
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 56 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	5	郷土館費	根拠法令・条例等	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例
	コード	774113			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
隼人地区の歴史・民俗資料を集めたり、保存したり、調査研究したり、市民に紹介したりする。そのために資料館の施設を管理運営する。 また、隼人にゆかりのある浜下りや年中行事である灯ろう祭りなどを文化財少年団を組織して伝統的体験学習を行なう。  (事務内容) ・隼人歴史民俗資料館の管理・運営 ・企画展、巡回展の実施			特別展「国分平野を潤す～松永溝と宮内原用水～その歴史の跡」  平成24年度計画 ・「霧島市の石仏」巡回写真展 ・大隅国建国1300年記念関連巡回展 ・縄文関連巡回展 ・文化財少年団の育成				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	開館日数	日	308	308	308	308	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,487	127,365	129,098	129,328
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	郷土館に訪れた人の数	入館者数	人	1,975	2,654	2,700	2,700
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	10,239	10,499	10,000	
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	3,050	2,936
	補正予算額	-48	
	予算合計	3,002	2,936
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	226	
	一般財源	2,702	
	支出合計	2,928	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
昭和56年、隼人地域の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、隼人歴史民俗資料館を建設した。	平成18年度入館者は1876名、平成23年度入館者数は2654名で70%近く増えており、この5年間は平成21年度を除いて右肩上がりである。一般入館者の他、小学生の郷土の学習、歴史愛好団体の活動の場として利用されている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
入館者の増加対策。費用対効果に関する指摘。郷土の歴史について知ることが出来良かった。文化財少年団や郷土館等活用他意見学習を通して、郷土の歴史・文化・風俗などが良く分るようになった。との意見が寄せられている。	特になし

事務事業コード	774113	事務事業名	隼人歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	1,601		1,601	1,601		1,601	1,613		1,613
8 報償費	5		5	5		5	5		5
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	465		465	451		451	541		541
消耗品費	128		128	123		123	130		130
燃料費									
食料費									
印刷製本費	17		17	28		28	30		30
光熱水費	320		320	300		300	381		381
修繕料									
12 役務費	102		102	96		96	102		102
通信運搬費	64		64	62		62	62		62
広告料									
手数料	11		11	6		6	11		11
保険料	27		27	28		28	29		29
13 委託料	713		713	731		731	713		713
14 使用料及び賃借料	37		37	42		42	66		66
15 工事請負費									
16 原材料費	5		5	10		10	10		10
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	2,928		2,928	2,936		2,936	3,050		3,050

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	226		226	136		136	170	
一般財源	2,702		2,702	2,800		2,800	2,880		2,880
計	2,928		2,928	2,936		2,936	3,050		3,050

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成23年度	当初予算	3,050千円		
	補正予算	-48千円		
	第1回(6月)	第5回		
	第2回(9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		▲48
予算合計	3,002千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
入館料・書籍売上代金・コピー代金	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774113	事務事業名	隼人歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が担当する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象にしており、対象・意図ともに適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	魅力的な特別展やイベントなどの実施、ホームページを作成するなど情報を発信することによって来館者の増加が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収蔵されている文化財や滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 田分郷土館管理運営事業・横川郷土館管理運営事業・霧島歴史民俗資料館・隼人歴史民俗資料館管理運営事業 郷土館等の事務事業を統合することで、施設の連携を図り成果の向上に努める。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、館を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は館の管理に関する事務を主に手がけており、郷土館の運営は非常勤職員と人材派遣委託(シルバー)で実施している。これ以上の削減は不可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	23年度の特別展では宮内原用水関連の展示を行い、地域の歴史を知ることができよかったですとの声が寄せられた。大隅正八幡宮(鹿児島神宮)関連の県内でも重要な資料がかなり保管されているが、これらの情報が発信されていないので、今後は地道な調査整理を行いつつ、発信の場(特別展等)を設ける必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 ・特別展「国分平野を潤す～松永溝と宮内原用水～その歴史の跡」の開催 ・大隅正八幡宮関連展示 ・文化財少年団の育成  郷土館等の事務事業の統合し、各施設の連携を図ることで成果の向上に努める。  郷土の歴史・文化を学ぶ場所を提供することによって、文化財への造詣が深まるとともに、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 ・文化財少年団の育成 ・大隅国建国1300周年記念事業関連巡回展 ・企画展の実施 ・大隅正八幡宮関連展示

事務事業コード	774112	事務事業名	霧島歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	霧島教育振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	教育グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	57-1111
				内線番号	5840
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 54 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	5	郷土館費	根拠法令・条例等	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例
コード	774112				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
霧島地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収蔵及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷に対し造詣を深める。			展示品の入れ替え				
(事務内容) ・霧島歴史民俗資料館の管理・運営 ・企画展、巡回展の実施			平成24年度計画 「霧島市の石仏」巡回写真展 大隅国建国1300年記念関連巡回展 縄文関連巡回展				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	開館日数	日	299	300	299	299	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,487	127,365	129,098	129,328
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	郷土館に訪れた人の数	入館者数	人	204	190	200	200
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	10,239	10,499	10,000	
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	23年度 (決算)	24年度 (予算)	
予算額	当初予算額	586	589
	補正予算額	-1	
	予算合計	585	589
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	6	
	一般財源	573	
	支出合計	579	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
昭和54年、霧島の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、霧島歴史民俗資料館を建設した。	年間の来館者は延べ200人程度であり、経費削減のため、資料館の隣にある公民館の職員に管理を兼ねてもらっている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
霧島市には同様の施設が5館あり、今後統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。	特になし

事務事業コード	774112	事務事業名	霧島歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	霧島教育振興課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	41		41	49		49	49		49
消耗品費	20		20	25		25	25		25
燃料費	3		3	6		6	6		6
食料費									
印刷製本費									
光熱水費	18		18	18		18	18		18
修繕料									
12 役員費	10		10	10		10	10		10
通信運搬費									
広告料									
手数料	6		6	6		6	6		6
保険料	4		4	4		4	4		4
13 委託料	528		528	530		530	530		530
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	579		579	589		589	589		589

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	6		6	4		4	4	
一般財源	573		573	585		585	585		585
計	579		579	589		589	589		589

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	586千円		
	補正予算	-1千円		
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	▲1
予算合計	585千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
入館料	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774112	事務事業名	霧島歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	霧島教育振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が担当する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象としており、対象・意図ともに適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	人々の興味をひく企画展やイベント、常設展示品の入れ替え等を行うこと、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収集されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 田分郷土館管理運営事業・横川郷土館管理運営事業・隼人歴史民俗資料館・隼人歴史民俗資料館管理運営事業 郷土館等の事務事業を統合することで、施設の連携を図り成果の向上に努める。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、館を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は館の管理に関する事務を主に手がけており、郷土館の運営は人材派遣委託(シルバー)で実施している。これ以上の削減は不可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、常設展示物の入れ替えを実施した。今後は、市内各郷土館収蔵物の巡回展をして、一か所で市内の郷土館等の収蔵物を見られるようにするなどして、入館者の増加につながる方策を検討する。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 ・「霧島市の石仏」巡回写真展示 ・大隅国建国1300年記念関連巡回展 ・縄文関連巡回展  郷土館等の事務事業の統合し、各施設の連携を図ることで成果の向上に努める。  郷土の歴史・文化を学ぶ場所を提供することによって、文化財への造詣が深まるとともに、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 ・大隅国建国1300年記念関連巡回展 ・郷土館等巡回展 ・図書館と連携した展示の工夫